

令和6年度
活動記録集

三重県産業教育振興会

活動の様子

農業部会



花壇装飾



食品開発

工業部会



ロボコン競技（障害物競走）



ロボコン競技
（ロボットアメフトジュニア）



工業高校生フェア
（プログラミングによるロボット制御体験）

商業部会



近鉄百貨店がちゃイベント



産業教育フェア

家庭部会



商店活性化 PR ポスター



相可高校 食物調理科



久居農林高校 生活デザイン科



白子高校生活創造科コラボレーション
商品販売

水産部会



関東・東海地区水産・海洋高等学校生徒研究
発表大会



関東・東海地区水産・海洋高等学校産業教育
意見・体験発表会

看護部会



手術室における手袋の着用



包帯法

総合学科部会



ディスカッションの様子



産業教育フェア 地元特産物の販売

福祉部会



高校児童館食堂

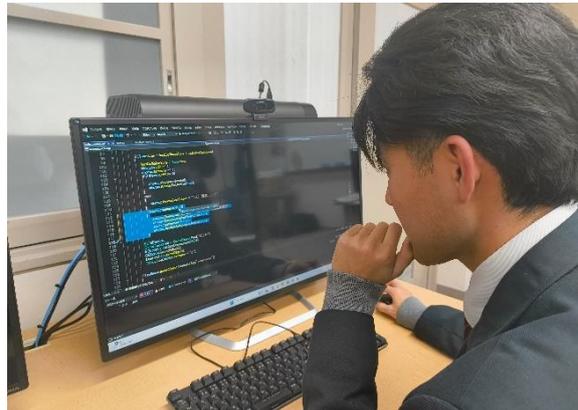


上級救命講習

情報部会



ふくし出前講座（小学4年生との交流）



ハイスペック PC を活用したプログラミング実習

中学校部会



全国専門学科情報科研究協議会



創造アイデアロボットコンテスト
応用部門の競技

目次

| | |
|---------------------------|----|
| 会長 挨拶 | 2 |
| 教育長 挨拶 | 3 |
| 令和6年度事業報告 | 4 |
| 三重県産業教育振興会総会 | 4 |
| 三重県産業教育懇談会 | 5 |
| 産業教育振興に関する懇談会 | 6 |
| 特別研究成果報告 | 7 |
| 産業教育に関する研究文・作文コンクール | 9 |
| 部会活動報告 | 46 |
| 一般会員 より | 61 |
| 県教育委員会事務局高校教育課 より | 64 |
| 会員名簿 | 66 |

会長挨拶

三重県産業教育振興会

会長 西村 信博



会員の皆様におかれましては、平素より本会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

近年、少子高齢化や労働力不足、グローバル化の進展、そして技術革新の加速など産業界を取り巻く環境が大きく変化してきており、地域社会の持続的な発展に向けて、専門的知識と実務能力を備えた若者の育成がこれまで以上に求められています。また、学校教育には、「持続可能な社会の創り手の育成」と「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」を目指して、生徒が失敗を恐れず挑戦する心や社会の形成に参画する態度を身につけることができるよう、キャリア教育やSTEAM教育のさらなる推進が期待されています。そうした中で、本会では、産業教育の振興を通して次世代の人材育成に資するよう、様々な活動に取り組んでいます。

産業教育に関する研究文・作文コンクールでは、個々の生徒が専門高校等での学びを通して得た感想や将来の目標、抱負などを綴った作文と、個人やグループで取りまとめた専門教育に関する研究・実験・調査等の研究成果が多数寄せられました。この取組は、生徒たちにとって、専門分野への理解をさらに深め、日頃の学びを社会生活や将来の職業生活に結び付けて捉える機会や、他者及び社会への貢献意欲を高める機会となりました。

イオンモール津南様のご協力により開催した三重県立高等学校産業教育フェアでは、専門高校等での日頃の学びの成果を披露し、多くの来場者の方に生徒たちの努力の結晶をご覧いただくことができました。各校の展示や実演は、地域の方々から高く評価され、生徒たちにとって大きな励みとなりました。生徒たちは、地域社会との繋がりを深める中で、学びへの意欲をより一層高めることができたと感じています。

また、会員の皆様を対象として開催した三重県産業教育懇談会では、埼玉大学の石坂督規教授をお招きし、「Z世代の若者の行動特性を踏まえた人材育成」をテーマにご講演いただきました。講演後の一般会員と学校会員による意見交換では、「早期離職防止に向けて学校と企業のそれぞれにできること」や「Z世代の若者が三重県に住み働くために必要なこと」などについて議論が交わされ、双方にとって有意義な交流の機会となりました。

地域社会や産業界が今後も発展するためには、将来に対して明確な目標を持ち、専門的な知識や技術・技能を身に付けた人材を育成することが必要です。本会では、今後も、教育と産業界の連携をより一層強化し、実践的な知識と技術を兼ね備え、社会の変化に柔軟に対応できる若者の育成に寄与できるよう努めるとともに、次代を担う若者が自信と誇りをもって未来に挑戦できるよう取り組んで参る所存です。

結びになりますが、会員の皆様には、本会の活動及び事業運営に一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶といたします。

教育長挨拶

三重県教育委員会

教育長 福永 和伸



三重県産業教育振興会の皆様におかれましては、平素から本県における産業教育の振興に多大な御尽力をいただいておりますことに対し、厚く御礼申し上げます。

令和6年度の職業学科等の生徒の活躍や活動を振り返りますと、多くの素晴らしい成果が見られました。

四日市農芸高等学校生活文化科の生徒が「令和6年度専門高校生徒の研究文・作文コンクール」の研究文の部において最高位の最優秀賞、水産高等学校水産資源科の生徒が、同コンクールの作文の部において同じく最優秀賞を受賞しました。また、四日市工業高等学校自動車科の生徒が「第24回高校生ものづくりコンテスト全国大会」の自動車整備部門において優勝（国土交通大臣賞）、建築科の生徒が「第70回工高生デザインコンクール」で最高位の最優秀賞を受賞しました。さらに、相可高等学校食物調理科の生徒が「全国高校生ガストロノミー甲子園2024」において優勝を果たしました。国家資格取得においても、松阪工業高等学校電気工学科の生徒6人が、第三種電気主任技術者試験に合格し、高校生の合格者数としては全国1位となっており、本県の職業学科等での学びや、技術習得の成果が高く評価されています。

このような職業学科等の生徒たちの素晴らしい活躍や活動は、産業界の皆様の温かい御支援のおかげであり、心より感謝いたしております。

さて、「人生100年時代」の到来や労働市場の流動性の高まり、マルチステージの人生モデルへの転換により、生涯にわたって主体的に学び続け、自らの人生を舵取りする力を身につけることの重要性が増しています。国外に出ていく機会も増える一方、日本社会の内なるグローバル化が進展していることから、異なる価値観を持つ多様な他者と当事者意識を持って対話を行い、問題を発見・解決できる「持続可能な社会の創り手」を育てる必要がこれまで以上に高まっていると考えられます。

本県では、教育委員会が令和6年3月に策定した「三重県教育ビジョン～子どもたちが個性を輝かせ、望む未来を実現していくために～」をもとに、教育における不易と流行を十分に見極めながら、「自立する力」、「共生する力」、「創造する力」を育んでいきますので、引き続き御協力をお願いいたします。

結びに、本県における産業教育の発展のため、更なる御支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、三重県産業教育振興会の益々の御発展と皆様の一層の御活躍と御健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

令和6年度事業報告

総 会

- 1 日 時 令和6年6月18日（火）13:00～16:00
- 2 場 所 三重県総合文化センター「フレンテみえ」多目的ホール
（三重県津市一身田上津部田1234）

3 内 容

（1）議 案

- 第1号議案 令和5年度事業報告
第2号議案 令和5年度一般会計収支決算書
第3号議案 令和6年度役員（案）
第4号議案 令和6年度活動方針・事業項目（案）
第5号議案 令和6年度事業計画（案）
第6号議案 令和6年度一般会計収支予算書（案）

（2）令和5年度御下賜金記念産業教育功労者

- | | | | |
|-------------------|---------|-------|------|
| 三重県立松阪工業高等学校 | 教諭兼実習助手 | 桑原 幹仁 | （工業） |
| 三重県立松阪工業高等学校 | 教諭兼実習助手 | 小濱 幹也 | （工業） |
| 三重県立津商業高等学校 | 教諭 | 嶋野 武夫 | （商業） |
| 学校法人伊勢学園 伊勢学園高等学校 | 教諭 | 河内 由佳 | （看護） |

（3）感謝状受領者

- | | | | |
|--------|-----------------|--------|-------|
| 理事 | 本田技研工業株式会社鈴鹿製作所 | 総務課長 | 松本 周一 |
| 理事 | 三重県漁業協同組合連合会 | 代表理事会長 | 湯浅 雅人 |
| 理事 | 亀山商工会議所 | 会頭 | 岩佐 憲治 |
| 理事 | 三重県立四日市中央工業高等学校 | 校長 | 吉本 進 |
| 理事 | 三重県立松阪高等学校 | 校長 | 森山 隆弘 |
| 理事 | 三重県立松阪工業高等学校 | 校長 | 村田 武俊 |
| 理事 | 三重県立津高等学校 | 校長 | 辻 成尚 |
| 理事 | 三重県立明野高等学校 | 校長 | 東浦 宏幸 |
| 理事 | 三重県立久居農林高等学校 | 校長 | 吉川 秀明 |
| 理事 | 三重県立白子高等学校 | 校長 | 山口 雅弘 |
| 副会長・理事 | 松阪市立殿町中学校 | 校長 | 青木 俊幸 |
| 副会長・理事 | 菰野町立八風中学校 | 校長 | 吉田 剛 |

※事業所（学校）名・職名は令和5年度のものである。

（4）研 修 会

- 講師 NPO法人 a t r i o（ア トリオ）理事長 山口友美 様
演題 「幸せな生き方・働き方をするために
～キャリアコンサルティングの視点からみた人材育成～」

三重県産業教育懇談会

1 日 時 令和6年11月19日(火) 13:00~16:15

2 場 所 三重県総合文化センター「フレンテみえ」多目的ホール
(三重県津市一身田上津部田1234)

3 内 容

(1) 開会のことば

(2) 主催者挨拶

(3) 来賓祝辞

(4) 来賓紹介

(5) 令和6年度産業教育に関する研究文・作文コンクール入選者表彰及び研究文・作文発表

[研究文の部]

| | | | | | | | |
|--------|---------|---------|-------|----|-----|----|----|
| 会長賞 | 四日市農芸高校 | 生活文化科 | 3年 | 櫻井 | 琉菜 | | |
| 農業部会長賞 | 四日市農芸高校 | 食品科学科 | 2, 3年 | 小松 | ほのか | 稲葉 | 美空 |
| | | | | 田中 | 凜々咲 | 佐伯 | 美宇 |
| | | | | 阿部 | 友衣奈 | 寺嶋 | 和希 |
| | | | | 生駒 | 柚月 | 川口 | 結衣 |
| 看護部会長賞 | 桑名高校 | 衛生看護専攻科 | 2年 | 野村 | 理子 | | |

[作文の部]

| | | | | | |
|----------|-----------|------------|----|----|-----|
| 会長賞 | 桑名高校 | 衛生看護科 | 3年 | 澤村 | 美玲 |
| 農業部会長賞 | 愛農学園農業高校 | 農業科 | 3年 | 丹羽 | 愛美 |
| 工業部会長賞 | 伊勢工業高校 | 機械科 | 3年 | 近藤 | 弓起 |
| 商業部会長賞 | 四日市商業高校 | 商業科 | 3年 | 清水 | 瑠心 |
| 家庭部会長賞 | 明野高校 | 生活教養科 | 3年 | 及川 | 円佳 |
| 水産部会長賞 | 水産高校 | 水産資源科 | 3年 | 山本 | 理英 |
| 看護部会長賞 | 伊勢学園高校 | 普通科看護医療コース | 3年 | 鶴殿 | 由里 |
| 総合学科部会長賞 | 名張高校 | 総合学科 | 3年 | 中川 | 莉那 |
| 福祉部会長賞 | 明野高校 | 福祉科 | 3年 | 松崎 | 七菜 |
| 情報部会長賞 | 亀山高校 | システムメディア科 | 3年 | 桑島 | 慧至 |
| 中学校部会長賞 | 鈴鹿市立天栄中学校 | | 3年 | 中原 | 進之介 |

(6) 懇談会

講師 国立大学法人 埼玉大学 キャリアセンター
センター長・教授 石阪 督規 様

テーマ 「Z世代の若者の行動特性を踏まえた人材育成」

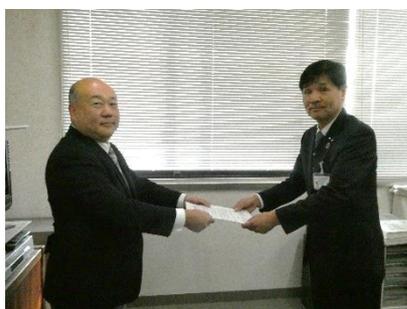
産業教育振興に関する懇談会

- 1 日 時 令和6年12月10日(火) 13:00~13:15
- 2 場 所 三重県庁7階 教育長室 (三重県津市広明町13番地)
- 3 訪 問 者 西村 信博 会 長 (株式会社誠文社 代表取締役)
萬井 洋 副会長・理事長 (久居農林高等学校長)
- 4 教育委員会側出席者
福永 和伸 教育長
山北 正也 高校教育課長
渡部 浩史 高校教育課指導主事
曾野 亜希子 高校教育課指導主事

5 内 容

要望書を手交し、少人数指導に対応した教職員定数の改善や計画的な教員採用、先端的な学習を充実させるための施設・設備の整備、実習室等への冷房設備の設置、地域産業の担い手を育成するキャリア教育の推進、三重県立高等学校産業教育フェアの継続と支援等について要望を行い協議した。

教育委員会からは学習の幅が狭くならないように教職員定数の改善を文部科学省に継続して要望すること、施設・設備について学校の要望を聞き取りながら計画的な整備に努めること、進学支援に関する給付型奨学金等の情報を3年生に限らず、1・2年生にも周知するようにすること、未来のスペシャリスト育成プログラムや三重県立高等学校産業教育フェア等の学科の枠を超えた教育の充実を図っていくこと等の説明があった。



非農家の農業高校生における『農業』の将来性について ～非農家の子弟として愛農高校に入学し、現在農的 生き方をしている卒業生の実態調査～

愛農学園農業高等学校

泉川 道子

今回愛農学園農業高等学校が担当する令和5年度・令和6年度三重県産業教育振興会の特別研究の目的としては、本校の卒業生（特に非農家出身）で現在何らかの形で農的生き方をしている32期生（1997年卒業）から55期生（2000年卒業）までの約56名（実質は35名）の実態を、アンケートを通して探り、本校で現在も維持している農業教育と今現在農的生き方をしている彼らとの関係性についても浮き彫りにしていきたいと考えている。

本校は1963年より就農自営者育成校として県からの補助金を受け、私立全寮制で農業科のみの、しかもキリスト教主義の高校として農業教育活動を行ってきた日本唯一の高校である。この度、この機会を頂いて、本校のような小さな私立農業高校がなぜ60年間も生き残り、尚且つ20年間に平均して2.5名ずつ（1学年約20名中）もの新規就農者を送り出して来ることができたのかを、その文化的、教育的観点から分析・考察し、今後日本の農業高校がますます「農業人＝百姓」の存在を尊重しつつ、日本社会に農業者をおくり出すために、その農業教育に力を注いでいくための可能性を模索したい。

以上のような目標を掲げ、令和6年6月から7月中旬において、泉川が個人的にSNSを通して繋がっている卒業生56名にGoogleフォームを用いてアンケートを発信し、35名から返信を得た。

農繁期の忙しい時期にアンケートのための

時間を割いてくれた卒業生にまずは感謝の意を表したい。また、今発表ではアンケート内容の全てをお伝えするには至らなかったが、近いうちにその全容をアンケートにお答えいただいた卒業生にファイル形式で送付できれば彼らの今後の励みにもなると考える。

アンケートの結果を得た後の感想としては、やはり創立者、故・小谷純一の「農業が好きで好きでたまらない人をつくるんや！」という創立当初の理念は、現在も脈々と愛農学園農業高等学校の教育理念として息づいているということである。創立者の願いとしては「世界平和」という壮大な目的があるわけであるが、卒業後20年を生きている卒業生の面々がそれぞれに家族を持ち、自分たち家族が食べるものに安全性を期し、安心して子育てができる環境を家庭内に育てているという実態そのものが、十分に「世界平和」の一旦となっていると考えるのは、飛躍しすぎであろうか。

最後にこの度このような貴重な機会を与えてくださった三重県高等学校教育研究会、農業部会の皆さまに厚く御礼を申し上げ、特別研究の報告を終えたい。ありがとうございました。

「農林業の草木廃棄物の処理方法について」 ～特に焼却(野焼き)について～(中間報告)

三重県立明野高等学校
山元 通央

①はじめに

平成10年頃から環境ホルモンの観点による野外焼却に規制が加えられた。ところが自治体のゴミ焼却炉が悲鳴を上げ、平成20年を過ぎた頃から草木の野外焼却が緩和され、現在、祭・農林業の草木廃棄物・災害復旧他の焼却は認められている。これらを正確に把握し生徒に正しく伝える事は、私たち農業教員の役目でもある。

①関係する法規

廃棄物処理法 第四章 雑則

(焼却禁止)

第十六条の二 何人も、次に掲げる方法による場合を除き、廃棄物を焼却してはならない。

- 一 一般廃棄物処理基準、特別管理一般廃棄物処理基準、産業廃棄物処理基準又は特別管理産業廃棄物処理基準に従って行う廃棄物の焼却
- 二 他の法令又はこれに基づく処分により行う廃棄物の焼却
- 三 公益上若しくは社会の慣習上やむを得ない廃棄物の焼却又は周辺地域の生活環境に与える影響が軽微である廃棄物の焼却として政令で定めるもの

廃棄物処理法施行令 第六章 雑則

(焼却禁止の例外となる廃棄物の焼却)

第十四条法第十六条の二第三号の政令で定める廃棄物の焼却は、次のとおりとする。

- 一 国又は地方公共団体がその施設の管理を行うために必要な廃棄物の焼却
- 二 震災、風水害、火災、凍霜害その他の災害の予防、応急対策又は復旧のために必要な廃棄

物の焼却

- 三 風俗慣習上又は宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却
- 四 農業、林業又は漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却
- 五 たき火その他日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却であつて軽微なもの

②自治体等の指導

(1)伊勢市 環境生活部 環境課の「野焼き禁止啓発ポスター」には、次のように記載されている。

●屋外焼却の例外とされる主なもの

- ・国や地方公共団体が、その施設の管理を行うために必要なもの
- ・震災や火災など、災害の予防、応急対策や復旧のために必要なとき
- ・風俗慣習上や宗教上の行事を行うために必要なもの
- ・農林漁業などを営むための害虫対策など、やむを得ない場合の焼却
- ・キャンプ時のたき火や常識的に通常行われる軽微なもの など

※例外となっているものについても、むやみに焼却してよいというわけでは ありません。風向きなど安全を確認の上、消防署へも届け出をしましょう。

(2)伊勢市消防本部のHPには「火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生おそれのある行為の届出書」がある。

次年度「焼却禁止の例外」を詳しく探っていく予定です。

三重県産業教育振興会 会長賞（研究文の部）
公益財団法人産業教育振興中央会賞 最優秀賞（研究文の部）
公益社団法人経済同友会賞（研究文の部）

母を救え！！～着がえやすい服を求めて～

三重県立四日市農芸高等学校
生活文化科 服飾経営コース 3年 櫻井 琉菜

I 題目設定の理由

私の母は40歳ころから「リウマチ（関節リウマチ）」という病気にかかっています。リウマチは関節が動かしくくなる病気で、普段から指先を使った動作があまり得意ではありません。また、手指の痛みがひどい時は、服の脱ぎ着が困難だったり、食事の準備をしようにも、包丁や箸が持てずにいろいろな場面で困っている様子でした。食事の準備などは誰かが代わりにやれば済みますが、着替えや風呂、トイレなど、自分の身の回りのことが今まで通り自分でできないのは大変だろうな、不便だろうなと思いました。そこで、私が学んでいる服飾の知識を生かして、母の着替えを少しでも快適にしてあげられないだろうかと考え、この題目を設定しました。

II 実施計画

次のような実施計画を立てました。

- 1 実態調査と問題点の把握
- 2 研究
- 3 実践活動Ⅰ
- 4 中間評価、改善
- 5 実践活動Ⅱ
- 6 実践活動Ⅲ
- 7 まとめと今後の課題

III 実施状況

1 実態調査と問題点の把握

- 1 母のリウマチの症状について

母は40歳の時、足に力を入れると痛くて立てないということがありました。病院へ行って診察をしてもらいましたが、特に異常はなく、湿布をもらっただけで帰宅しました。ところがその3日後、右ひじが腫れ、携帯を持って電話ができないほどの痛みを感じ、再度病院で血液検査をしてもらいました。そこで初めて「リウマチの可能性がある」と言われ、専門の病院を紹介してもらって通院することになりました。その2年くらい前から、物がつかみにくかったり落したりすることがあったのですが、痛みはなかったので疲れているだけだと思っていましたが、思えばそれが予兆だったのかも、と気づいたそうです。

母のリウマチの症状は、ひじやひざ、肩、くるぶし、足の親指の付け根、あごなど、様々なところに発症しましたが、現在は右手の手首と第2関節に発症しています。痛みには波があるようで、気圧が不安定なとき、例えば梅雨時期や台風が来る前後、雪の日などによく痛みを感じるそうです。

リウマチの症状が出ると困ることは、着替えや家事だそうです。具体的には、着がえるときは袖に腕を通せない、下着のホックがかけられない、ファスナーの引手が持てないなど、また家事をするときに困ることは、包丁や箸が持てないのはもちろん、調味料やペットボトルのふたがあげられない、洗濯ばさみが使えない、雑巾を絞れないなど、普段私たちが当たり前のようにやっていることができないそうです。爪切りも使えないと聞いて、本当に大変なのだとわかりました。痛みが現

れたときは基本的に無理をせずに過ごしているそうです。

2 衣服の素材や形について

リウマチの症状が出たときに着替えをするのがつらいのはどのようなときか母に尋ねたところ、そでを通すために腕を上げたり、ズボンを上に上げるときなどに痛みを感じると話してくれました。そのときに、伸びる素材でデザインを考えようとしたのですが、布を伸ばすことそのものがつらい時もあるので、そでぐりが大きい服がいいと意見をくれました。また、もともと母は汗かきで、汗のおいなども気になること、痛みを感じるときは肌触りが柔らかい素材がいいから化学繊維は避けたい、などの要望があったので、天然繊維で肌触りがよく、吸水性・通気性に優れている「綿」を使うことにしました。

また、デザインは、上衣はお尻くらいまでの長めの丈でズボンと組み合わせて着られるもの、切り替えがあって腰回りがフレアになっている、そでぐりが大きく、脱ぎ着のしやすいゆったりとしたブラウスのようなものがよいとのことでした。ただ、首元がだらっとしないようにしてほしいという要望もありました。これらの意見を取り入れて、写真1のようなデザインを考えました。



写真1 トップスのデザイン

2 研究

1 リウマチ（関節リウマチ）について

関節リウマチとは、関節のこわばりから始まり、痛みや腫れが現れる病気です。その本態は「関節の炎症」であり、その炎症が進行すると、軟骨や骨などの組織が破壊され、関節が変形して動かさ

なくなったりします。ではなぜ関節に炎症が起こるかという点、免疫の異常が原因です。

免疫とは、私たちの体に有害な異物が侵入したときに排除するための仕組みなので、普段は私たちの体を守るために、細菌やウイルスなどに対して攻撃し、排除してくれます。ところが何らかの原因でこのシステムが自分自身の細胞や組織を敵だと誤認し、攻撃してしまうのです。こういった病気を「自己免疫疾患」といい、膠原病や甲状腺機能低下症、1型糖尿病などもこれに当たります。関節リウマチは、膠原病の一つです。免疫異常がおこる根本的な原因はいまだに解明されていませんが、遺伝的な要因、ウイルスや細菌への感染、喫煙などが引き金になると考えられています。

関節リウマチが発病する割合は、日本では人口1,000人に対して女性で5.4人、男性で1.1人となっています。男性に比べて女性の方がかかりやすいことにはなりますが、男性が全くかからないわけではありません。発症しやすい年代は30～60歳代ですが、まれに10～20歳代で発症する人もいます。

2 関節リウマチの症状

関節リウマチを発症する患者さんの多くは、日常生活の中で起きる違和感がきっかけで気づく人が多いといわれています。例えば、朝の着替えの時にボタンが外しにくかったりかけにくくなった、朝食を作るときの動作が鈍くなった、などです。これらが初期の典型的な症状である「朝のこわばり」です。朝起きたときにはこわばって動かしにくくても、数時間経つと違和感がなくなります。手足の指の関節など、小さな関節にそれが出ると、やがて腫れや痛みが出始め、場所が増え、片側だけでなく左右の関節に発症する…といったように進行します。これらを関節リウマチの関節炎といい、「多発性」「対称性」「移動性」の3つの特徴があります。

そこからさらに進行すると、関節に水がたまったり、腱鞘炎などが現れます。この辺りまでで適

切な治療を受けないと、関節の軟骨や骨自体が破壊されて、リウマチに特有の変形が起こります。

関節リウマチで合併症を引き起こすこともあります。比較的多く発症するのが骨粗しょう症です。リウマチの痛みによって体を動かさなくなることや、治療に使うステロイドの長期間の使用が骨密度に影響を及ぼすといわれています。

3 綿（めん）について

「ワタ」の種子からとれる繊維とその繊維から作られる糸や布のことで、主成分はセルロースです。綿繊維の形態は扁平で中空があり、よじれがあるので、柔らかく肌触りがよいです。また、通気性・吸水性ともに優れており、汗をしっかり吸収します。さらに、化学繊維と比べると静電気が起こりにくいいため、乾燥しがちな時期でも身に付けやすいという特徴があります。しかし、吸水性が高い「綿」は、吸った水分を蒸発するのに時間がかかるので、比較的乾きにくいというデメリットがあります。室内などで自然乾燥する場合は、乾くのに時間がかかり、雑菌やニオイの原因になることもあります。また伸縮性もあまりありません。このような特徴から、肌着やシャツ、ブラウス、パンツ、パジャマ、浴衣など、直接肌に接する部分の多い衣服に最適の機能を持っていると言えます。

3 実践活動 I

1 5分の1サイズの型紙で試作

いきなり実際の大きさの服を作るのは難しいと思ったので、シーチングなどの余り布で試作ができないか考えました。そこで、授業で習った「文化式婦人原型」を、母の原型の1/5サイズで作って、ブラウスの試作を行いました。(写真2)

原型とは、人体の平面展開図のことで、さまざまな型紙を作っていくときの土台となる最もシンプルなパターン（型紙）です。自分の体の寸法に合わせて作成していきますが、そのままだとゆとりがなく、洋服としては着られないため、必要に

応じて適切な部位に適切なゆり（ゆとり）を加えて、作りたい洋服の型紙を作っていきます。今回は、母の要望から着丈を長くする、身幅を大きくする、えりぐりを広めにする、そでぐりを下げ、そで山を低くすることで腕を通しやすくなるように型紙を工夫しました。(写真3)

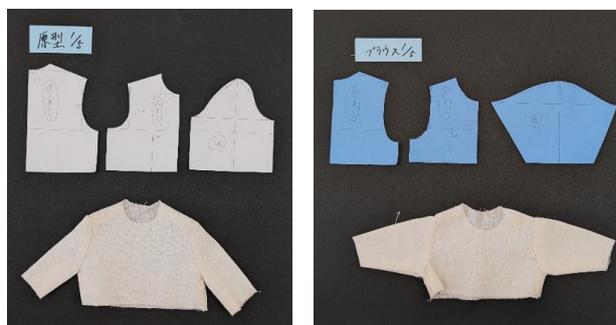


写真2 原型型紙（左）とブラウス型紙（右）

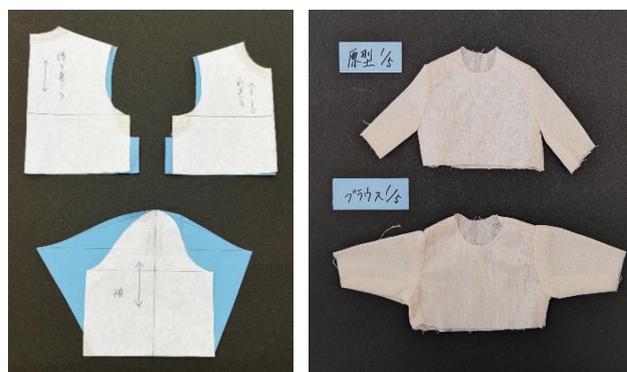


写真3 原型と型紙の比較

2 ブラウスの製作

試作で作ったものを参考に、実際の原型から母の要望に合わせたデザインの型紙へと展開し、裁断、しるしつけ、仮縫いをし、母に試着してもらいました。(写真4)

4 中間評価、改善

母からは「デザインや着心地など、ほぼ私の要



写真4 完成したブラウス

望通りで嬉しい。ただ、生地が綿で伸びない分、えりぐりがしっかりしすぎていて少し着づらい。もう少しえりぐりを広くするか、何か工夫してくれたら嬉しい。」という意見をもらいました。しかし、どうすればうまくいくか思いつかず、祖母に相談したところ、あきを作ってファスナーをつけてみてはどうかとアドバイスをもらいました。

あきの種類は、一般的には前や後ろに作ってボタンやファスナー、マジックテープなどで留めるものがあります(資料1)。また、肩線にあきを作り、ボタンなどを付けて脱ぎ着がしやすくなっているものがあります(資料2)、これは幼児服などによく取り入れられています。



資料1 あきの例 (前あき、マジックテープ)



資料2 あきの例 (左肩あき)

さらに、母のように腕や肩が痛かったり足が不自由な方たちが楽に服を着るための工夫 (ユニバーサルデザイン) にはどのようなものがあるのか調べてみると、わきの下からそで下までをあきとしてファスナーをつけたり(資料3)、そで山にあきを作り、ファスナーをつけて脱ぎ着ができるようなデザインも見つけました(資料4)。これはかなり斬新なデザインだと思いました。



資料3 あきの例 (わき~そで下、ファスナー)



資料4 あきの例 (そで山、ファスナー)

私が今回作ったブラウスは、そでぐりを大きくとったりそで山を低くしたことで、それほど腕を上げなくても着ることができたので、えりぐりだけ改善しようと考え、前身ごろの胸くらいの位置まであきを作り、ファスナーをつけることにしました。しかし母は、ファスナーの引手など、小さいものを「つまむ」という動作がしにくいときがあります。そこで、そういったときでもつまみやすい「玉つきファスナー」という、引手が大きめのファスナーを使用しました(資料5)。完成したブラウスが写真6です。



資料5 玉つきファスナー



写真6 改善後のブラウス

母からは「とても着やすくなった。症状が出て
も安心して着がえられるから嬉しい」「裾がフレア
になっていて素敵」と感想をもらいました。家族
も「店で売っている服みたいだね」と驚いていま
した。

5 実践活動Ⅱ

1 ボトムにも挑戦！

ブラウスが好評だったので、ボトムにも挑戦し
ました。足に症状が出ているからというよりは、
手指が痛い時にボトムを引っ張り上げる動作がつ
らいということだったので、ウエストがゴムタイ
プで、楽にはけるようなボトムを考えました。

母にどんなデザインが良いかを選んでもらった
ところ、マーメイドスカート（資料6）を着てみ
たいと話してくれました。



資料6 マーメイドスカート（『誌上・パターン塾』より）

しかし、マーメイドスカートは体に沿ったデザ
インであるため、普通の布で作ると動きが制限さ
れ、歩きづらくなってしまいます。そこで、伸縮
性のある布とゴムテープを使って、歩きやすく、
動きやすくなるように工夫し、ストレスを減らそ
うと考えました。

裾のフレア部分は、実践活動Ⅰで製作したブラ
ウスのフレア部分と同じように、横に切り替えを
入れてフレアを切り開くやり方で製図をしました。
こちらまずはシーチングを使って試作しました。



写真7 製図の様子

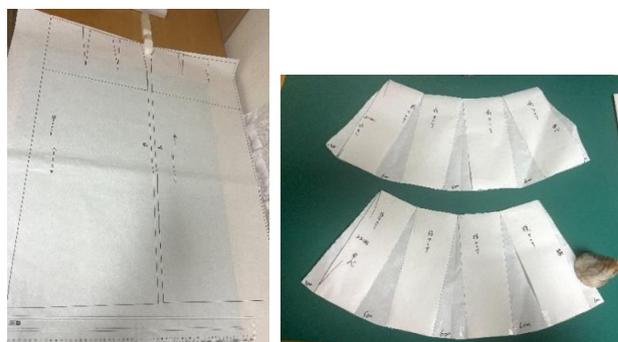


写真8 スカートの型紙（左・上部分、右・フレアの部分）



写真9 シーチングで試作

母に試着してもらったところ、ウエストのギャ
ザーがたくさんありすぎて膨張してみえる、もう
少しウエスト周りのギャザー分量を調節してほし
い、とのことでした（写真10）。私も、本番の布
は伸縮性があるので、おそらく減らしても大丈夫
だろうと考え、改善を加えることにしました。



写真10 試着の様子

2 スカートの改善

母の意見をもとに、ギャザー分量を減らしてふ
くらみを抑え、かつゴムテープではけるように調
節し、再度試着してもらいました（写真11）。ち
ょうどよいバランスになったので、本番のスカ
ートを製作しました（写真12）。



(前)



(後ろ)

写真11 ギャザー分量を調整し、改善



(前)



(後ろ)

写真12 マーメイドスカート完成！！

今回の布は伸縮性を重視して、母に好きな布を選んでもらったので、透け感が少しある布になりました。そこで、裏スカートをつけましたが、裏布が伸びない素材だったので、ギャザーの分量が表布以上になってしまい、それをどう抑えるか苦労しましたが、無事に完成しました。

母の感想は「自分で布を選んだり、ゴムテープのデザインを選んで楽しかった。表地が伸縮性のある布で体に沿ったシルエットになるし、裏地はゆとりがあるからとても歩きやすく、着やすかった。下のフレアの部分が歩いたときにヒラヒラして可愛かった。」と大満足でした！

6 実践活動Ⅲ

1 母の暮らしを守るために

関節リウマチは、関節で免疫細胞が悪さをすることによって、関節に痛みや炎症をもたらす病気です。しかし、通院や薬物治療に加えて、リハビリテーション（予防体操）をすることによって、身体機能を保持したり回復をはかることができます。その目的は、①関節を固まらせないこと、②筋力を維持すること、③関節を守ることの3つです。リハビリの種類には、運動療法、作業療法などがありますが、家でも簡単にできる「リウマチ体操」という運動を見つけたので、母に「やってみよう」と声をかけて、一緒に体操をしました。母は手指が一番痛みやすいということで、手指中心に体操を行いました。

<リウマチ体操（上肢の運動）>

A 肩を捻る運動

- ①小さく前ならえをする
- ②ひじを身体につけたまま前腕を外側へ開き、5～10秒キープする



写真13 一緒に体操！

B 腕を上げる運動

- ①前ならえをして5～10秒キープする
- ②両腕を水平に広げ、5～10秒キープする

C 前腕を回す運動

- ①小さく前ならえをして、手のひらを上に向け5～10秒キープする
- ②手首を回して、手のひらを下に向け5～10秒キープする

D ひじの屈伸

- ①肘を軽く曲げ、腕を左右交互に前方方向へ動かした状態で、それぞれを5～10秒キープする

E 手首の運動

- ①前ならえで手のひらを下に向けてから、手先を手首から上に曲げ3～5秒、下に曲げ3～5秒キープする

F 手指の運動

- ①ゆっくり手指をパーに開き、5秒キープする
- ②指を閉じて、グーの状態を3～5秒キープする



写真14 リウマチ体操の様子

体操を行う時の注意は、①できるだけ毎日行うこと、②無理な動きはせず、運動後に疲れや痛みが残らないようにすること、③自分の力で安全に行うこと、④呼吸を止めないこと、⑤動かしている筋肉を意識しながら行うことです。はじめは母と一緒にいき、慣れてきたらだんだん自分で行ってもらうようにしました(写真15)。母は寝る前などに取り組んでくれていましたが、痛みがある日や仕事で疲れた日などには体操を休んだり、体操をしない日が続いているときには私が声をかけて一緒にやるようにしました。



写真15
母一人で体操!

体操を始める前と後の様子を観察してみたところ、始める前は、雨が降るとやはり手が痛かったようで、指が曲がらない、物を持つのが億劫という様子でした。ところが、体操を始めて二週間ほど経った頃、連日雨が降った時がありましたが、以前ほどの痛みがなく、比較的楽に過ごせたようでした。普段、雨の日は包丁を使うことがあまりできませんでしたが、使えた日もあったので、私は、体操の効果が少しは現れているのかなと思いました。

しかし、母からは「湿度や天気によって体調が左右されるので、体操が効いているかどうかはまだわからない。仕事が多かった日には手が思うように動かせないこともあるので、体操を休んでしまった。でも、私のために一緒に体操してくれて楽しかったし、簡単な動作なので覚えやすい。これからも続けていきたい。」と話してくれました。

7 まとめと今後の課題

母の病気について、普段から右手が痛そうにしている姿を見て、どうしたらいいのかわからず、何か方法はないかと思っていましたが、今回、病気について深く理解し、実践することができました。病気と闘っている母へ、服飾の授業で学んできた内容、経験を十分に発揮し、好みのデザインの洋服を作ることができました。ブラウスを製作した時は、祖母にアドバイスをもらいましたが、スカートに挑戦したときは今までの反省を活かして、1人で製作することができました。ブラウスの時よりも手際良く、理解しながら製図したり縫製することができ、技術も成長していると感じました。これまで頑張ってきた経験があり、尚且つ母に対して「助けてあげたい」と強く思ったから

こそ出来上がった作品だと思いました。そして何よりも、母が私の研究にとっても楽しんで協力してくれて、喜んでくれたことが嬉しかったです。そんな私たちを見て、父や祖母までもが喜んでくれました。今回は春夏用の服を作ったので、今後は秋冬物にも挑戦したいです。

私は卒業後、服飾の専門学校へ進学します。今回の研究を通じて、洋服のユニバーサルデザインについても知ることができ、とても興味が湧きました。これを活かして、進学先でも、健康な人だけがおしゃれを楽しむのではなく、母のように不自由を感じている人でもおしゃれを楽しめるような洋服のデザインやパターンを考えられるように頑張っていきたいです。

<参考文献>

- ・ウルトラ図解関節リウマチ～病気を進行させない早期対応と治療の最新知識～(監修;宮坂信之、法研)
- ・家庭総合 (実教出版)
- ・ファッション造形基礎 (実教出版)
- ・誌上・パターン塾 Vol.2 スカート編 (監修;まるやまはるみ、文化出版局)
- ・ <https://www.modeaoki.com/universalfashion>
ファッション外来 by モードアオキ服飾研究所
- ・ <http://blog.la-suila.jp/?eid=331> ベビー服のあきについて (ラ・スーラ ブログ)

Reborn 三重なばな～新たな価値と食文化を創造する～

三重県立四日市農芸高等学校

食品科学科 3年 小松ほのか 稲葉美空 田中凜々咲
2年 佐伯美宇 阿部友衣奈 寺嶋和希 生駒柚月 川口結衣

1. 背景

三重県が生産量全国第1位である地域資源「三重なばな」。(図1)。



・図1 三重なばな生産量417t（令和2年）

中でも北勢地域は「なばなの里」で有名な桑名市長島町を中心に全国有数の産地といえる。また「江戸のあかりは伊勢で持つ」と言われ、江戸時代から菜種として油を搾るためになばなの栽培が盛んであった。やがて三重県では昭和30年代に若菜の出荷を開始し、ブランド化を進め、現在では生産量や歴史、商品価値が評価され「みえの伝統野菜」にも登録されている。

令和3年2月になばな部会のJAみえきた伊藤さんが来校、「農業と環境」の授業の中で「北勢地域におけるなばな栽培の取組みをぜひ知ってほしい。」と話をされた。

私たちは、地域資源である三重なばなの現状を知るために、なばなの栽培農家を訪ねた。そこで私たちが目にしたのは、収穫時期終盤に出荷されず廃棄されるなばなの葉や茎の部分である。出荷される部分は株全体のたったの1/3。1つの株で3～5回収穫できるが、残りは商品として出荷されない。三重県全体で考えると規格外としての年間廃棄量はなんと2万kgほどになる。これら

は廃棄コストや環境負荷を増加させることから、日本が抱える食品ロス問題と同様に解決すべき課題である。(図2)



・図2 規格外なばなの収穫の様子

2. 課題設定

私たちは、「Reborn 三重なばな」プロジェクトを始動。テーマを「新たな価値と食文化を創造する」とし、規格外なばなを乾燥食品として粉末化することで、長期間の保存が可能になるほか、様々な食品の素材としての可能性を考えた。さらに地域との交流を通じて規格外なばなの活用方法を検討した。

本研究は、三重県農林水産部のご協力のもと、三重大学の起業活動支援プログラムに採用され、活動を開始した。そして、持続可能な開発目標であるSDGsの視点で3つの目標分野をゴールとした。

3. 方法

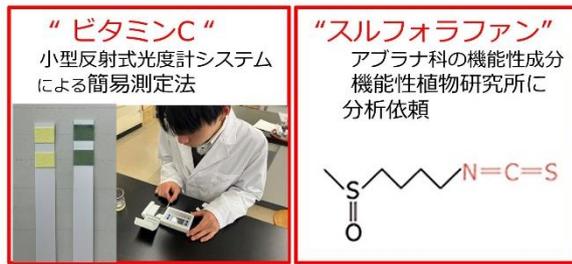
3. 1) 三重なばなの栄養成分を分析

【目標分野3】だれもが健康で幸せな生活を送るように

次の栄養成分について、科目「食品化学」で学習した知識をもとに分析。

がん予防の注目成分「スルフォラファン」含有

量の測定(株式会社機能性植物研究所に分析依頼)。
還元型ビタミンC量(小型反射式光度計システム
による簡易測定法)の測定。(図3)



・図3 栄養成分の分析

3. 2) 付加価値の高い粉末加工の方法を検討

【目標分野12】 つくる責任つかう責任

長期的な保存を目的として、なばなをブランチング処理の有無・乾燥方法で比較、粉末化(0.3mm未満)し、成分を測定・分析し評価。ブランチングとは、殺菌と酵素の働きを止める目的で加熱することである。

I. ブランチング処理: 対照区A未処理、試験区B熱湯(30秒間)、試験区C水蒸気(60秒間)。

II. 乾燥方法: ①高温加熱(80°C)、②マイクロ波(600W電子レンジ)、③フリーズドライ(以下FD)。

III. 評価方法

CIE表色系による色彩値 L^* 、 a^* 、 b^* 、 C^* 、 h^* (三重県工業研究所にて分光測色計を使用)を測定。 L^* 値は明度、 C^* 値は彩度を表す。(図4)



・図4 色彩値の測定

クロロフィル総量(DMF抽出による吸光度法)、還元型ビタミンC量の測定。

IV. なばな粉末添加の製菓試験。

製菓試験(小麦粉に微粉碎したなばな末粉を4%置換添加し、ケーキを試作)。

製造当日および3日後に切断面の色彩値を測定し、 L^* 値、 C^* 値を比較した。

3. 3) 素材を生かした商品開発と活用方法。

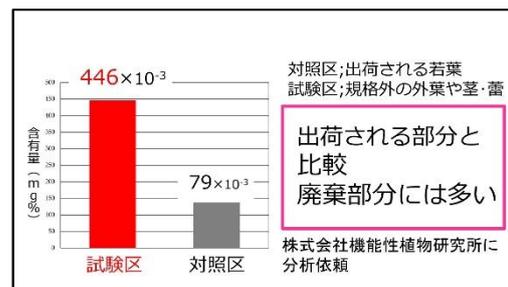
【目標分野17】 パートナーシップで目標を達成しよう

なばな生産農家、JAみえきた、三重県桑名地域農業改良普及センターと連携し、なばなの菓子類を完成。

また、なばなを乾燥させると相対的にタンパク質含有率が多くなる。そこで特別養護老人ホーム「南部陽光苑」と連携し、なばなを使った高タンパク質で栄養的価値の高い介護食の開発を行った。

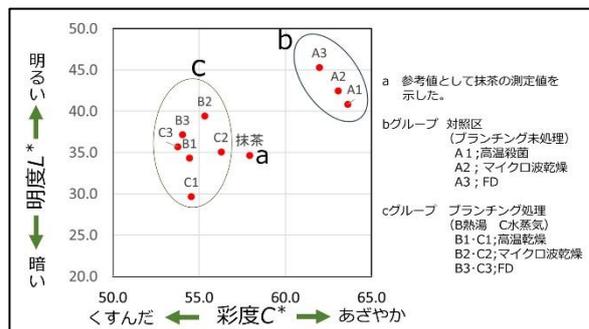
4. 結果と考察

4. 1) 規格外の外葉や茎、蕾みの部分には「スルフォラファン」含有量が $4.46 \times 10^{-3} \text{ mg \%}$ と多いことを確認。(図5)



・図5 スルフォラファン含有量の比較

4. 2) 規格外なばなの葉はブランチング未処理で粉末にすると、乾燥方法に関係なく緑色の明度、彩度ともに高い数値を示した。(図6 bグループ)



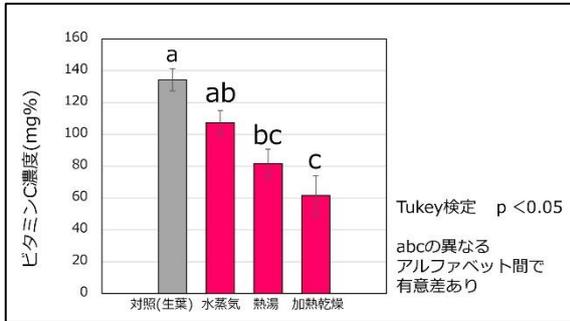
・図6 なばな粉末の色彩値(n=3)

また若葉より緑色が濃く、クロロフィル総量は 123.9 mg/g (若葉 85.9 mg/g)と多い。

ブランチング処理による影響については、彩度が低下しくすんだ色彩になる。その中では、マイクロ波による乾燥が色彩の明度、彩度で比較的好

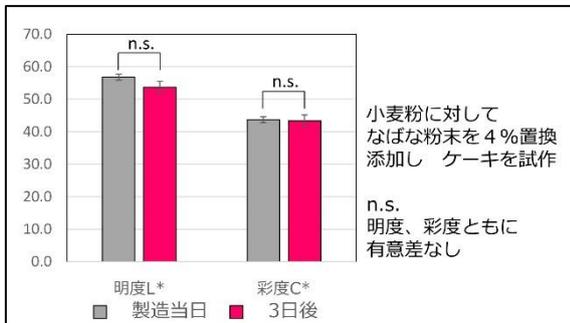
い傾向がみられた。(図6 cグループ)

また、規格外なばなには ビタミンCが多く含まれており(平均134mg%±7.0)、ブランディング処理や加熱乾燥によるビタミンCの減少量を測定すると、水蒸気処理<熱湯処理<高温加熱の順で増加する傾向がみられた。このことは、既知の研究結果⁽¹⁾とも一致する。(図7)



・図7 加熱によるビタミンC量の変化(n=3)

製菓試験では、3日後に明度、彩度もとも減少する傾向はみられたものの有意な差はなかった。このことから、粉末化にあたって商品価値を高める要素である緑色の発色については、比較的安定していることが確認できた。(図8)



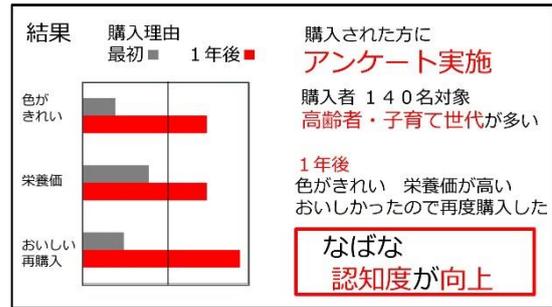
・図8 製菓試験による色彩値の変化(n=5)

4. 3) 地域創造プログラム「桑名ほんぱく」をはじめ10回のイベントでマーケティング調査と販売、PR活動を実践。(図9)

商品を購入された方にアンケートを実施したところ、色がきれい、栄養価が高そう、おいしかったので再度購入したなど、なばなの認知度が向上した。購入対象については、高齢者や子育て世代が多く、見た目や栄養面で特に関心が高いことがわかった。(図10)



・図9 販売・PR活動の様子



・図10 購入理由についてのアンケート結果

この結果をもとに、さらに高齢者と子育て世代をターゲットに商品開発をすすめた。

高齢者を対象とした「介護食」は市場規模の拡大が予測され、栄養価値が高いなど付加価値の高い商品が増えている。また、農林水産省の規格「スマイルケア食」の適用も検討した。(図11)



・図11 スマイルケア食

そこで、特別養護老人ホーム「南部陽光苑」管理栄養士佐久間さんにアドバイスをいただき、パンもちを掛け合わせた「ぼなもち」を開発。

結果、なばな粉末を加えることでタンパク質がさらに増え、「少量で高エネルギー、高タンパク質」の機能が強化された。この結果から佐久間さんは「食べやすい。私たちが思いつかないような味でおいしい。」と高い評価をいただいた。(図12)

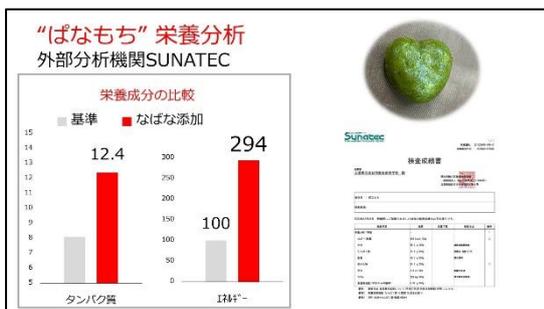


・図1.2 介護食としてモニター調査

5. 成果

R4年度からの2年間のイベントで合計4.8kg（乾燥重量換算）の規格外なばなを活用。

介護食「ぼなもち」は、外部分析機関SUNATECに成分分析を依頼。農林水産省の規格「スマイルケア食 青マーク」の基準を満たすことを証明。今後は申請予定。（図1.3）



・図1.3 介護職「ぼなもち」

6. 今後の展望

三重なばなの味は、癖が少なく他の食材と合わせやすい素材である。そのため、さまざまな食品への利用が広がりやすい食材とも考えられる。今後は食品会社と連携し、菓子類以外にふりかけなど新たな食品での利用方法も検討。さらに栄養的価値などをPRし、新たな市場価値を検討していきたい。また食育活動などより幅広い普及活動で、地域全体を巻き込む食で人をつなぐネットワークに発展させていきたい。

7. 参考文献

1) 阿部一博, 嘉悦佳子, 阿知波信夫: 日本食品保蔵学会誌 39, 207~212(2013).

精神看護における「共依存」の影響について —患者同士の疑似親子関係とは—

三重県立桑名高等学校

衛生看護専攻科 2年 野村 理子

はじめに

「共依存」関係とは、特定の他者の行動に左右されており、かつ、自分は行動をコントロールしなければならないという強迫観念であり、ごく普通の行動(心配すること、支配すること)が、歯止めがきかないぐらい度がすぎてしまう関係である。今回、精神看護学実習において、統合失調症の患者を受け持った。患者は特定の親密な患者の世話をすることに存在価値を見出す状態、「自分が世話をしないと、この人はダメになる」という共依存症が存在した。

本論文では、受持ち患者との関わりを振り返り、共依存関係がもたらす影響・効果について考察し、看護者として何が必要であったか改めて考える目的でここに報告する。

事例紹介

氏名：Dさん（受持ち患者）

年齢：80歳代

性別：女性

診断名：統合失調症

既往歴：部分てんかん、右大腿骨頸部骨折、アルツハイマー型認知症

氏名：Kさん

年齢：50歳代

性別：女性

<受け持ちまでの経過>

198X年に幻覚・妄想状態のため当院を受診し、

統合失調症と診断され入院される。特定の患者と親密な関係が続き、この初回の入院時も特定の患者との親密な関係が続いていた。

201X年に他患に突き飛ばされ足を打撲し、右大腿骨頸部骨折を受傷した。手術目的の為、一旦退院をするが、治癒後任意にて再入院され、現在に至る。

日常生活においては、同室者であるKさんとトイレまでの移動・食事・入浴など、常に行動を共にする。そのためDさんはKさんの過度な依存に煩わしさを感じており、声を荒らげてKさんを叱りつける言動も聞かれた。

以下、オレム/アンダーウッドのセルフケア理論の普遍的セルフケア要素「孤独と人との付き合いのバランス」についてアセスメントする。

患者を孤立させ、社会相互作用を困難にする要因として次のようなことが考えられる。1つ目は中学生の頃、父親が他界されている点や、Dさんの兄弟は入院生活の中で面会されることはなく、家族との関わりが少ないといった生い立ちがあり、幼い頃から孤独を感じていることも考えられる。

2つ目は、未婚で出産経験がないため、子育てや家族関係などのライフサイクルに伴うライフイベントを経験できていない。さらに、40歳頃から精神科へ入院をし、その後も長期にわたり入院生活を送ってきたため、社会生活から隔絶されていたことから、社会の相互関係・ライフイベントが消極的になっていることも考えられる。3つ目は、Dさんに生じている精神障害である。統合失調症

の症状として、幻聴や妄想など精神症状による落ち着きのなさとともに孤立感を抱いたまま、不安や困っていることを表現できていない。このことから、Dさんは「孤独と人との付き合いのバランス」の領域で問題があることが考えられる。

看護の実施と考察

1) 看護診断

#特定患者と共依存関係に関連したストレス過剰負荷リスク状態

2) 看護目標

上位目標：Kさんと共に穏やかに生活できる。

下位目標：急激な感情の高まりがなくなる。

3) 実施と評価

Dさんは密接なKさんとの日常生活において、苛立ち・煩わしさが存在し、Kさんに対し、暴言を吐いている状態である。そのため、お互いがどのように受けとめているのか知り、双方の思いに沿った適切な関係性を構築する必要がある。そこで3つの場面を設定し、頻回な訪室をした。①学生とDさん・Kさんの3人の関係、②KさんとDさんの2人だけの関係、③学生とDさんのみの関係と3つのパターンに分け、それぞれのDさんの表情や言動や第三者が入ることで、どのような変化があるのかプロセスレコードから振り返り、Dさんの心の変化や言葉のやり取りなどについて考察した。

①学生・Dさん・Kさんと3人で話をしているときの発言の様子

Kさん：「お母さんみたいな存在」、「Dさんが居なかったら生活できない」「そんなに怒らないで」

Dさん：「Kさんとは仲良いよ。」「娘みたいなもの。ずっと一緒にいる。」気を荒らげることなく、笑顔のある穏やかな表情であり、良好な疑似親子関係があると考えられる。

②KさんとDさんの2人だけで話しているときのDさんの様子

Dさん：「Kさんがいつもついてくる」、「何で毎回言わないといけないの」、「自分で考えて」と感情

が高まることもあり、冷たい態度や強い口調が時折見られる。Dさんにとってストレス過剰負荷のリスクが考えられる。

③学生とDさんの2人で話しているときのDさんの様子

Dさん：「私がいなくなったらKさんはダメになるからね。Kさんが心配。」「私は平気だけどKさんがね。」と発言しており、不満は少ないようである。さらに、「親子」という双方の発言から2人は共依存関係が強く、不適切な関係性ではないことが考えられる。しかしながら、実際のDさんの言動は、発言とは異なっており、双方が共依存関係の負の側面を自覚できていないことが明らかである。

考察

3つの状況別にコミュニケーションをとることを積み重ねた結果、Kさんの過度な依存によるストレスを溜め込まないよう、2人の関係を仲介し、Dさんの感情を小出しに代弁してKさんに伝える支援をし、精神面でのサポートをした。共依存が起こる理由として、精神障害から起こる「孤独」や、「他者への不信感」などを抱いていることや、「誰かに必要とされたい」といった自分を肯定的に評価する存在を求め、さらには自分から離れてしまうのではないかとといった「不安」が「共依存」という関係ができる仕組みだと考えられる。

共依存関係を軽減させる方法として、看護師は精神科の病棟内で患者が自立している「個人」として生活する経験や、共依存者以外の集団に所属するきっかけを作り、自身の役割を発揮できるような機会を作る手助けをすることだと考える。そうした結果、共依存者以外の社会との接触が増えることで、依存から離れ、セルフケア能力の向上に繋がるのではないかと考えられる。

Dさんの発言から「私がいないと（Kさんは）だめ」、Kさんの発言から「Dさんがいなかったら生活できない」など心理的に互いが強く依存していることが明らかである。依存関係にある2人の関係は不適切であると考えることが一般的といえる

が、親子のように相補的關係性がよくみられ、典型的な共依存へと繋がっている。

Kさんの過度な依存に煩わしさを感じ叱りつけているDさんであるが、世話をすることで存在価値を見出している関係でもある。一見するとKさんの依存が原因であるとみえるが、実際にはDさんは、Kさんが依存できる悪循環をつくるイネイブラーの役割になっていることが考えられる。

イネイブラーとは、依存者が離脱したくても、さらに依存させるような悪循環を引き起こすことである。しかしながら精神障害のある2人において、自分たちの中で家族のシステムを作り、他者との関わりを持つことができている共依存の関係は維持していくべきではないかと考える。

統合失調症という障害の中でも、2人は自分以外の人を思い合い、他者を認め合い、相手も重んじる心優しい存在である。

現在の2人の関係性はお互いが生活を豊かにしており、どちらかが欠けてしまうと現在のような生活ができなくなることが考えられ、必ずしも共依存が悪影響であるとは言いきれない。自尊心を持ち、人格と個性を尊重することを通し、互いに支え合う、「共生」として支援していくことが重要であると考えられる。

結論

(1) 社会一般では、共依存関係は悪影響だとされているが、精神障害者にとって、自分以外の人を思い、他者を認めることに繋がっている。

(2) 共依存の関係の中でも「援助する一人の人間」と「援助を受けるもう一人の人間」との社会的出会いこそが他者との人間関係を構築させる原点となっている。

(3) 共依存関係の軽減には、精神科の病棟内で患者が自立している「個人」として生活する経験や、共依存者以外の集団に所属するきっかけを作り、自身の役割を発揮できるような機会を作る手助けを行うことも重要である。

(4) 看護者として、両者の関係を否定すること

なく相手を尊重し、患者同士が共生できるよう支援していくことが重要である。

おわりに

「共依存」は一般的には「悪影響」「弊害」であると考えられることが多い。しかし精神看護においての「共依存」は、依存しているお互いを信頼し、他者を認めることができ、親密でありながらもそれぞれの同一性を保つなど、社会活動の原点となる。「依存」「嗜癖」「悪循環」というマイナス面の概念にとらわれず、広い視野、角度を持って考えるようにしたい。

この研究に当たり、受け持ちをさせていただいた患者さん・温かい指導をいただいた指導者さんをはじめスタッフの方々に心より感謝いたします。

参考文献引用文献

- 1) 出口禎子：精神看護学② 精神障害と看護の実践. 第5版, 株式会社メディカ出版, 東京, 2022, p122
- 2) 尾木直樹：親子依存症. ポプラ社, 東京, 2015
- 3) 岩崎弥生：新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害を持つ人の看護. 第6版, 株式会社メヂカルフレンド社, 東京, 2021

看護とは何かを考える

三重県立桑名高等学校
衛生看護科 3年 澤村 美玲

看護を勉強する前、私は看護とは診療の補助や患者の世話というような解釈を大まかにしていて、技術の高い看護師像を描いていた。しかし、看護を勉強するにつれ、その解釈の仕方が変わっていった。大きく変わったのは2年生の2週間の病院実習のときと祖父の存在だった。

2年生の病院実習では初めて患者さんを受け持ち、患者さんを援助させていただいた。約2週間患者さんを受け持たせていただいて感じたことや学んだことがたくさんあった。一つ目は患者さんの状態は日に日に変わっていくことだ。患者さんの状態は、毎日同じではない。例えば排泄をするときに看護師が患者さんの下着を下していたが、翌日には患者さんが自分で下げられるようになっていたり、車椅子移乗の際に看護師が殿部を把持していたのが、看護師の支えがなくてもご自身で車椅子に移乗されていたりと、小さなことでも毎日変化していることを学んだ。この小さな変化は患者さんを毎日細かく観察しなければ気付くことができないと感じた。また、実習記録を書く際に、この患者さんは今の時点で何ができるのか、どこかの援助を必要としているのかを考えることが大切だと思った。毎日変化する患者さんに対して、毎日同じ援助をすることはきっとない。なぜなら患者さんができていくことが毎日少しずつでも増えるからだ。患者さんのできることを看護師がしてしまうと患者さんは自立することはできない。そのため患者さんを細かく知る必要がある。これが個別性に合わせた援助ではないかと思った。2つ目は患者さんに対しての接し方についてだ。患者さんが発した言葉の一つひとつになぜこの言葉を発したのか、疑問をもつことが大切だと思った。疑問を持つことで患者さんが本当は何を必要としているのかが分かるからだ。また、患者さんが大

丈夫と言ったら本当に大丈夫なのか、看護師の目から見て得られる情報も大切だと思った。患者さんの言葉がすべてではなく、表情やしぐさも患者さんを知るひとつだと思う。2年生の病院実習では患者さんが本当に思っていること、不安なことが知ることができず、指導者さんを通して理解することが多かったため、もっと患者さんとコミュニケーションを多くとっていくべきだったと感じる。患者さんが不安、不満に感じていることは私たちと同じように伝えづらいことと考える。しかし傾聴する、言いやすい環境をつくる、患者さんを知りたいという姿勢を向ける、そうすることによって自分がその人になら伝えたいと思ってもらうことにより、患者さんにとっての不安な部分がわかると思う。そして不安を聴き、その気持ちに寄り添い、不安を軽減するためには何ができるのかを考えることも大切だと思う。患者さんの身体の状態だけでなく、心の状態もみることが看護師のすることではないかと思った。

そして看護をするにあたって欲求を充足するということについて深く考えるようになったのは祖父の存在だった。私の祖父は胃がんで一般病棟から緩和ケア病棟に移り、昨年年末に最期を迎えた。緩和ケア病棟にいた際は、消化管が機能していなかったため、鼻から胃へチューブがつながっており、内容物を排出している状態であり、食べてもすぐ体外から排出されていた。その時に祖父は経口摂取していたが、「満腹になれず食べた気がしない」と発していた。一般病棟にいた時から消化管があまり機能しておらず、絶食とされており、祖父は食べたいという欲求を抑えて闘病していたと思われる。適切に飲食をすることはヘンダーソンの考えとしての基本的欲求としてのも一つでもある。口から食事を摂取していたとしても、本人が基本

的欲求が満たされていないと思うのならば欲求は充足されたとはいえないのではないかと思う。経鼻経管栄養や胃瘻栄養から長らく経口摂取をしていなかった患者さんが口から食物を入れ、咀嚼、嚥下をする。その行為により食べたという感じがして欲求が充足される患者さんもいるだろう。しかし、祖父のように長い期間行っていなかった咀嚼、嚥下を行っても食べて満腹にならないと食べただけでは欲求が充足されない、満腹になることで欲求が充足されるという人もきっといると思う。ヘンダーソンが書いた『看護の基本となるもの』には「静脈内注射および経管栄養法の改良は多くの生命を救ってきたが、このふたつの方法はある程度の危険と苦痛とを伴う。しかし、そもそも食事には危険など全くないばかりか、一般的には“楽しみ”のひとつである」「どのような方法で患者さんが食べているにせよ、看護師は彼の食欲および摂取の妥当性を常に見極めている責任がある」と書かれている。食事は患者さんにとって楽しみな人が多いと思うが、胃瘻栄養や、経管栄養など経口摂取をしない患者さんの場合は食事が咀嚼・嚥下されず直接胃へと栄養が送られる。身体的な面では栄養が取り入れられているが精神的な面では満たされるどころか胃にチューブが挿入され、不快感しかない人が多いのではないかと思う。もちろん身体に栄養を入れなければ人は生きていけないが基本的欲求が充足されていない状態で生きていくと感ずることができののだろうか。少なくとも祖父はそう感じていたようだ。絶食時に「食べないと生きている感じがしない」と言っていたことが一度だけあった。その時私は基本的欲求が充足したときに人は生きがいを感じるのではないかと思った。マズローの欲求5段階では、生理的欲求は最下層である。欲求が充足されることにより次の段階へとまた欲求が出てくる。しかし生理的欲求が未充足状態であると次の段階へ進むことができないままであるが、その欲求が充足されると自分は価値のある人間だと実感することができ、生きがいを感じるのではないかと思う。やはり人間にとって基本的欲求が充足されることが生きるために大切であると思った。患者さんの中にはその基本的欲求が自身で満たすことのできない人もいるだろう。そこで看護師がこの患者さんは基本的欲求を充足するために何が足りていないか何を

必要としているのかを考え、充足するために足りない部分を補うことが役割の一つではないかと思う。また患者さんにとっての欲求は人それぞれだろう。その欲求を看護師は理解し、充足できるようにすることが大切だと思う。患者さんにとっての基本的欲求を知るためには病院実習で学んだ患者さんを知ることにつながる。

2年生の病院実習と祖父の存在により看護に対しての感じ方が変わった。看護師は患者さんを退院に導くために日常生活援助を手助けする。その援助方法は患者さんをよく知っておかなければならず、観察することが大切だと思った。また、患者さんの身体の状態を把握するだけでなく、心身共にどのような状態なのかを知り、心も身体も満たされた状態に看護することが大切だと思った。技術の高い看護師を目指すことも大切だが、心も身体も満たされる状態に援助することが私の将来の看護師像である。

ラクノウ

愛農学園農業高等学校
農業科 3年 丹羽 愛美

私は牛が好きだ。のんびりしていて可愛いし、見ててとても癒される。ミルクがこの世に存在しているのも牛のおかげだし、料理やお菓子にも使われるチーズやバターだって牛がいなければ作られることはないだろう。これらのような、牛がいるから存在しているものは今も昔もこれから先の時代にも必要不可欠なものだと私は思う。しかしそんな思いとは裏腹に、現在の日本の酪農は存続の危機に陥っている。実際に日本の酪農家が経営する牧場の約85%は経営状況が赤字。その内の四割以上は赤字額が100万円以上。一か月で2000万円の赤字の牧場もあるという。そうなると離農を検討する農家も少なくない。現に六割近くの酪農家が離農を検討しているという。今の時代にこのような状況に陥っているという事は、もしかしたら近い将来、酪農はなくなってしまうかもしれない。

ここで少し話は変わるが、私が牛を好きになったきっかけを話そうと思う。もともと動物が好きだったため中学卒業を目前にし、皆とは少し違った進路かつ、動物と関わる道に進みたいと考えた。そんなときにたまたまこの学校を見つけた。家畜がいるということを知り、迷いもなくオープンキャンパスに参加した。それこそが初めての牛との出会いだった。他では体験できないからという理由で六部門の中から酪農を選択した。こんなにも近くで牛を見るのも初めてで何よりも大きさにびっくりした。でもそれ以上にくりくりしたお目目とのんびりした性格、初めて会う私たちに興味深々な牛たちの姿に一目惚れをした。これが私が牛を好きになったきっかけだった。学校に入学してから牛と関わるが増え、牛によって異なる性格や繊細さ、病気のことだけでなく、酪農を軸としてともに生活していくことの大変さなど目

を背けていたかったことまでも深く知ることができたと思う。私は愛農に入学してから繋ぎ飼いか見てこなかったため、牛にとっては放牧酪農がとても幸せな過ごし方だと思っていた。でも実際に2年生の時の北海道実習で放牧酪農をしている農家さんにお世話になった際、放牧しようとしても外に行きたがらず牛舎内で粘っている牛や、すぐに戻ってこようとする牛、放牧地に呼びに行くと早く帰りたいように待ってる牛たちの姿をたくさん目にした。放牧地に行きたがらない理由は、牛の性格や天気、アブなどの虫が多いことなど様々だと実習を通して知ることができたが、何よりもこんなにも放牧地に行きたがらない牛たちがいることにびっくりした。そこで放牧しているからといって牛にとって幸せなのかと考えたらそのような訳ではないと実際に見て感じるすることができた。また、進路の関係で北海道の猿払村にある酪農ヘルパーのインターンを2度体験させてもらった。そこでは毎日違う牧場でのヘルパー体験をさせてもらったが、牧場によって作業手順や農家さんのこだわりなどが全く異なるため、愛農の牛舎だけでは学べなかったことを学ばせてもらった。学校の作業とは違い、仕事としてお金をもらい、牛舎を任されるという責任感の違いをものすごく感じた。まだまだ知らないことで溢れているし、簡単に今の状況を変えることはできないけど、私は何としてでも日本の酪農を守っていきたく強く思う。そこで、なぜ酪農がこのような存続の危機に陥っているのかを考えた。コロナ禍による需要減少など、生産しても売れないという状況も大きな要因だと思うが、一番大きな要因は飼料価格の上昇だと感じる。ウクライナ侵攻や円安による飼料、燃料の高騰。これによって飼料の大半以上を輸入に頼っている日本の酪農は大きな打撃を受けた

ことだろう。それだけでなく、子牛販売価格の下落も大きな問題だと感じる。もともと一頭10万円ほどで取引されていたのが10分の1ほどまでに下がっている。種付けから出荷まで3万円ほどの経費がかかった子牛が1000円で引き取ってもらうこともあるという。最悪の場合1000円でも引き取られることがなく売主が持ち帰るケースもあるそうだ。この問題は牛肉の価格が大きく変わらない以上、子牛を買い取り、育てる肥育農家も生産コストだけが上がり赤字になるからという、消費者にはどうしようもできないことが原因になっている。では、どうしたら経営環境が少しでも改善されるのだろうか。経営者側と消費者側の二つの視点で、この三年間で学んできたことをもとに考えた。まず経営者側では「自給飼料の給与」「飼料米の活用」「ソーラーシェアリングの導入」などがとても有効的ではないかと考えた。最後に述べたもの以外は実際に私が所属している酪農部でも取り組んでいることである。

これらのことを取り組むことによってコストの削減や世界情勢などに左右されなくなるといった経営の安定に繋がると考えた。そして消費者側である私たちにできることは、今の酪農の現状を知り、「理解すること」と「牛乳をたくさん消費すること」だと考えた。根本的な解決は国の支援がないと今は難しい状況だとは思いますが、国産牛乳から作られている乳製品を値上がりしても変わらず買い続け、消費していくことが消費者としてとても大事なことだと私は思う。

もし酪農がなくなってしまうたら、子供たちが給食で牛乳を飲むことができなくなり、成長期に必要な一日の栄養素を効率よく摂取することが難しくなってしまう。そこで輸入という手段も考えられるが、牛乳は冷蔵で賞味期限が短いため、常温保存可能なロングライフ牛乳が主流となるだろう。そうになると、製造工程や殺菌方法に違いがあるため新鮮度や味が落ちてしまうのではないかと考えた。また、牛の糞から作られる堆肥が不足し、肥料不足となり、その他の食糧生産も落ちることだろう。最終的には食べ物私たちにいきわたらなくなってしまうかもしれない。そんな世の中にならないためにも、私は日本の酪農を守り続けたい。

繋がり

三重県立伊勢工業高等学校
機械科 3年 近藤 弓起

私は、小学3年生の頃にダンボールやペットボトルなどを使って街中でよく目にするガチャガチャを作った思い出があります。他にも、図工の授業で教えてもらった機構などを家に帰ってレゴブロックで再現するなど、「欲しい」や「面白い」と思ったものを自分で作ってみるということをしていました。

それは、見たものを形にするという作業が、自分の世界に入ることができ、ものづくりに没頭出来たからです。そのことから好きな「ものづくり」が勉強出来る工業高校に進学しました。

ものづくりに没頭できることは悪いことではないと思いますが、工業高校で学んだ「ものづくり」は、1人の世界に入り没頭する時間の他に、もっと大切なことがあることを教えてくれました。

先日、オープンスクールが行われ、私も中学生に説明する側としてお手伝いしました。実際に実習・実験の様子を見てもらい、私がオープンスクールで見た先輩の姿や話し方、顔つきなど、そのときの様子を思い出しながら中学生でも分かるように説明をしました。

終了後、担当の先生から「よくできていた」と褒めていただき、私が中学生の頃に見た先輩の姿に私もなれたと思いました。オープンスクールの経験は、教えることの大変さや難しさなどを教えてくれましたが、それ以上に私の説明を真剣に聞いてくれる中学生や、説明が終わると拍手をしてくれる中学生がいて、「やりがい」を感じました。

今回の体験の中で、私が中学生のときに参加したオープンスクールの説明の中で、伊勢工業ではただ「ものをつくる」ということだけでなく「ひとづくり」という部分も大切にしているという話を聞いたことを思い出しました。

しかし、その頃の私は「ひとづくり」という言

葉の意味をあまり理解していませんでした。何故なら、私には「もう大人」だという意識があったからです。

今から振り返ると、その当時の自分には「自分らしさ」というものがなかったと思います。私にとってコミュニケーションとは「空気を読むことができる人」という考えがあり、自分の意見を周りの人たちに伝えることができませんでした。

また、自分さえ良ければ何とかなるという考えや問題が起こった時は、他の人が解決するだろうと自分から動こうとせずただ時間が経つのを待っているだけの状態でした。

伊勢工業に入学して3年目、いろいろな経験をして考えたことがあります。それは、ものづくりには「人間力」が重要になるということで、やっと、「ひとづくり」が大切だと言われた意味がわかってきました。

私は、この「人間力」という力は「謙虚でありながらも、自分らしさをもっている」ことだと思います。

私には、尊敬し目標にしている先輩がいます。それは、所属する陸上部の先輩で、先輩は短距離種目をしていました。

私が行っている長距離種目は、同級生はいましたが、先輩がいなかったため、1年生の6月に顧問の先生から長距離ブロックをまとめる長をするように言われました。

日々、上手くまとめるように努力しましたが、思っている以上にチームをまとめることは難しく、練習をサボるチームメイトに上手く関わることが出来なかったり、自分も練習が辛く弱音を吐いてしまったりしていました。

先輩は、結果が出なくても常に前向きで、私たち後輩にも目を向けて行動してくれる人で、長距

離・短距離で同じ練習をする時には声をかけてくれて、アドバイスをしてくれました。その時も、意見を押しつけるのではなく、私の話をよく聞いてくださる謙虚な人で、私もこのような人になりたいと思うようになりました。

それからは、チームメイトが私についてくれるように「謙虚」であるということ意識しました。意識するようになってからはチームメイトも少しずつ積極的に練習に参加するようになったと感じています。

また、私は最近「自分らしさ」というものが出来てきたように思います。それは、周りの友だちが私のことを信頼してくれるようになったからだと思います。

なぜ友人が私のことを信頼してくれるようになったのかを考えたとき、伊勢工業高校で学んだことが大きかったと思います。それは、挨拶の大切さや社会・学校のルールを守ることの大切さを学んだことはもちろんのこと、実習は分からないことが多く、周りのメンバーと相談や協力をしなければ良いものはできないなと感じることがたくさんあったからです。

「空気を読むことができる」がコミュニケーションだと考え、自分の意見を周りの人たちに伝えることをしてこなかった私は、メンバーと上手くコミュニケーションを取ることが苦手でした。しかし、いろいろな実習・実験を経験する中で、「自分から」の大切さが分かり、少しずつ声を出していくことが出来るようになりました。

考え方が変わった私は、学級や部活動でも率先して行動しました。その流れで、学級委員や生徒会役員も経験しました。

工業高校では、実習など周りの人と関わりながら勉強していく時間がたくさんあります。そのたびに、人の意見だけを受け入れずに自分の意見も発言し、謙虚さをわすれなければ、さらに良いものをつくることができることや良い結果が出ることを経験しました。

一回一回の出来事だけではなく、毎回同じ考えで行動してきたことで、私の周りに信頼してもらえる仲間が自然とできたのだと思います。出来事の「繋がり」がその人の「自分らしさ」を作っていくのだと思いました。

先日、就職活動のために企業見学に参加し、現

場で働く人たちのことを学習した時、実習のような少人数のメンバーで班を作って作業をしていて、コミュニケーション能力が「ものづくり」の現場で働くことになる私達にとって、とても大切なことだと分かりました。もちろん、旋盤や鋳造など機械科で学んできた内容も大切ですが、私は卒業した後の進路先で最も必要な力を身につけることが出来たと感じています。

伊勢工業では「ひとづくり」という部分も大切にしていると言われた意味が今はよくわかります。

私は将来、自動車業界で活躍したいと考えトヨタ自動車「専門部」への就職を希望しています。入社が実現した時には、機械科で学んだ経験を活かし、さらに専門的な「ものづくり」の知識を得て、会社に貢献できる「人財」になるため、伊勢工業で学んだことを忘れずに、「私にしかできないことは何なのか」を考え、当たり前に行えることを率先して行い「謙虚」を忘れずに「繋がり」を意識して過ごしていきます。

家族の口癖

三重県立四日市商業高等学校
商業科 3年 清水 瑠心

「1人でも多くの方にかぶせ茶を飲んでもらいたい」これは私の家族の口癖です。家族は三重県が全国生産量第1位のかぶせ茶農家とカフェを営んでいます。そのため、常にお茶が生活の中にあるのが当たり前の日々を送ってきました。小学生の頃から自宅のカフェの手伝いをするのが好きで休みの日はいつも張り切って接客をしていました。その頃は「お小遣いがもらえるから」「楽しいから」という単純な理由で母に教わりながら手伝いをしていましたが、中学生になると自宅のカフェだけでなく、試飲販売やマルシェに付いて行く機会が増え、それと同時に三重県や四日市市以外の方と接することも増えました。そこで今までとのお客様の反応の違いに驚きました。それは、今まで私の少ない知識の説明で「あー！かぶせ茶ね。」と喜んでくださる方が多かったのに対し、これまでに身に付けた知識を交えて説明したのにもかかわらず、ピンときていない反応の方が多かったからです。その時、家族の口癖の本当の意味が分かった気がしました。そしてその思いの手助けになる勉強がしたいと思い、四日市商業高校に入学することに決めました。

入学してからは、想像以上に難しかった簿記や情報の授業に置いていかれないよう家で復習したり補習に参加し、先生にわからないところを質問したりして必死に取り組みました。その中でも1年生の授業で印象に残っているのは入学前どんな授業なのかイメージのつかなかったビジネス基礎の授業です。ビジネス基礎では生産者から消費者に商品が届く流れや、家計・企業・政府で成り立つ経済の基本的な仕組みを学びます。自分の家族が作ったお茶がどのような流れでお客様に届いていたのかを改めて知ることになりました。また、授業の中で企画を考えたことも印象に残っていま

す。四日市市の観光課の方が来てくださり、現在、市が取り組んでいる万古焼を広めるイベントや舞台、ラジオのお話から観光スポットとしてアピールするには意外な発想が大切だと学びました。意外な発想が想像していたターゲットとは別の人に広がり、それが観光地としてだけでなく、移住にも繋がるという今まで考えたことのなかったことに気づかされた授業でもあります。その後、学んだことを活かして考える「あなたが考えるシティープロモーションとは」というテーマで課題が出されました。私はやはり、お茶農家の自分にしか考えられない企画をしたいと思い、「みんなで茶レンジ！茶畑迷路」を提案しました。お茶の畝でできた迷路を四日市に関するクイズを解きながらゴールを目指すという企画です。これは、「ペットボトルでお茶を飲むことが多くなったため子供たちがお茶が木からできていることを知らなかった」というカフェの手伝いをしていた時に会ったお客様の意見から子供たちに楽しみながら知ってもらうためにはどうすればいいか考えたものです。結果、学年で最優秀賞に選んでいただきました。

2年生になると3つのコースに分かれます。ビジネス基礎の学習をより深めたいと思いマーケティングの授業がある流通ビジネスコースを選択しました。マーケティングの授業では、もし自分が会社をしていたらと自分がその立場になったつもりで考えられるように先生が授業をしてくださったので「分析」の大切さに気付くことができました。特にSWOT分析では「強み・弱み・機会・脅威」を考えることで今後どうすべきなのか課題を見つけられると学びました。授業で分析をする機会があったので、家業を分析したところやはり、1年生のシティープロモーションの元にもなった子供や若い人からの認知度の低さが家業を含

め四日市の課題だとわかりました。

そこで、これらの1、2年生の学習の中で発見した課題を高校生のアイデアで改善していきたいと思い、3年生の課題研究で四日市市の観光をPRする策を考えて観光甲子園に挑戦する「観光ビジネス」を選択しました。実際に四日市の観光資源となる場所に行き、インタビューをして課題を見つけます。現地研修でも「いい場所はたくさんあるが知られていない」という声を多く聞きました。そこで私たちのグループは焼物の産地とお茶の産地が同じ場所にあるのは珍しいということからセットで体験できることをアピールしていくという案をこれまでの学習を活かして考えることができました。

私は、3年間で学んできたことが直接、家の手伝いに活かすことができ、学ぶ機会の多い自分の環境に感謝したいと思うようになりました。将来は家業を継ぎ、四日市商業で学んだことを使って1人でも多くの人にかぶせ茶を飲んでもらい、そしてファンになってもらえるように頑張っていきたいです。

TO EAT IS TO LIVE

三重県立明野高等学校
生活教養科 3年 及川 円佳

「食べることは、生きること。」食とは、人が生きていく上で切っても切り離せない事柄の一つである。離乳食や介護食まで、生涯にわたって「食べること」は続いていく。そんな食について学び、この3年間で様々な知識を身につけていく中で、自らを成長させることができたエピソードがいくつかある。この明野高校生活教養科調理コースにて重要視される調理実習の授業では、チームワークや協調性がカギである。ただ 時間内に終わらせることができれば良いのではなく、各班のメンバーと協力して上手に役割分担を行うことが大切だ。しかし、実際に調理実習の授業を重ねていくまでは、私はこれらのことに気がついていなかった。今まで一人で料理をしてきた自分にとって、様々な工程を複数人で分担する行為は効率が悪く、うまくいかないものだと思っていた。自分一人でやってしまう方が速くてずっといいという考えだったのだ。しかし、実際に周りのみんなと実習を進めていくと、その考えは大きく覆される。自分たちの班のチームワークが目に見えてわかることや、完成した料理やお菓子のおいしさを共有できることの楽しさを知り、私はすっかり実習の時間が楽しみになっていた。最近 若い世代の個食化が進み社会的に問題視されている中、で自分自身も年齢を重ねていくうちに1人で食事をとる機会が増えていることに気がついた。そんな中で、このように実習をして「おいしさの共有」という尊さを改めて感じ取るができたのは、自分にとって大きな財産となった。

そしてこの3年間で最も自分を変えたのは食への探求心の芽生えである。料理はただ作ることでだけでは完結せず、食べてくれる人がいることで成立する。どうしたらおいしく食べてもらえるか、どう工夫すれば食べやすいのかなどを考えていく

うちに、学校の授業だけにはとどまらず、家に帰ってからも夢中で台所に立ち続けるようになった。私には、今年で97歳になる祖母がいる。足が悪く歩行器がないと移動が困難なため家にいる時間が長い。そんな中でも、毎日の楽しみを見つけてもらいたい、自分の力で祖母を笑顔にしたいという気持ちから、介護食を作り始める決意をした。咀嚼力が弱っているため、材料を細かく刻んだり、加熱する時間を長くしてできるだけ柔らかく食べられるよう一品一品に工夫を施した。さらにおいしいだけではなく、常に「まごはやさしい」の栄養バランスを意識しながら献立を作成した。そしてある日、「まどかちゃんのおかげで、いつもお夕飯の時間が楽しみな。本当にありがとう。」という言葉、祖母がかけてくれた。その瞬間、私は今までに感じたことのない達成感と心がじんわりと温まる感覚を覚えた。食を通してこんなにも人と人とを強く繋げることができるのだと知り、将来食に関わる職業へつきたい、誰かをもっと笑顔にしたいという強い意志を抱くようになった。このように、食には人にポジティブな感情を与える力がある。それは食べる人だけではなく作り手も同様だ。これらのことを肌身で感じる事ができた経験は、自分にとって何よりも価値があるものになった。

私が料理に没頭した理由は、それだけではない。私は食に対して無限の可能性を感じている。例えば、目の前ににんじんが1本あったとする。肉じゃが、グラッセ、きんぴら、ラペ、キャロットケーキ。たった1本のにんじんから、数えきれない種類の料理が連想される。自らの手で調理することによって、目の前にある食材が何にでも変化する。前菜から副菜、主菜からデザートまで、まさに変幻自在なのだ。さらに全体の彩りや盛り付け、

味の組み合わせによって雰囲気や感じ方もガラリと変わる。このような食の繊細さや柔軟性に、私は強く惹きつけられたのだ。そして、次第に、こんな食の魅力をもっといろんな人に伝えたい、人と人とを繋ぐことのできる架け橋をを作りたいという思いから、私は管理栄養士への道を志すようになった。国家資格の取得や実務経験も必要になってくるため決して容易い道とは言えないが、これからも自らの意思を曲げることなく、まっすぐに夢へと突き進んでいきたいと思う。

「食べることは、生きること。」冒頭にも述べたこのキャッチコピーは、私の座右の銘である。これからも生きていくために、私は料理をし続ける。さあ今日は何を作ろうか。

志摩市を盛り上げたい水高生

三重県立水産高等学校
水産資源科 3年 山本 理英

私は志摩市で生まれ志摩市で育ちました。志摩市は水産業が盛んで、ここでつくられる水産食品は、他のどんなおいしいものにも引けを取らない魅力的なものばかりです。志摩市で生まれ育った私には、それはとても身近で、当たり前のように目の前にある欠かせない存在でした。

そんな地元の水産食品の原料となる魚介類が、地球温暖化や磯焼けの影響でだんだん少なくなっている現状を小さい頃から耳にしていました。そんな話を聞くたびに、水産食品が大好きな私は関心が高まっていきました。

そして中学生になった私は、地元の水産高校で水産食品について学びたいと強く思うようになり、3年後には希望通り入学することができました。

水産高校では、船のことについて詳しく学ぶ海洋・機関科と、水産生物や水産食品のことについて詳しく学ぶ水産資源科の2つの学科があります。学科の中でも2年生からコース分けがされており、私は、水産資源科の特に水産食品について詳しく学ぶアクアフードコースに入り、日々勉強しています。

アクアフードコースでは、もちろん座学もありますが、カツオやマグロを一から捌き、缶詰にする実習や、地域に出向く販売実習、お祭りやイベントに参加する実習もあり、それが特に楽しいです。

私が2年生になってすぐに、コースの代表として東北大学主催の「美食地政学」という講座に参加させていただきました。その講座は、未利用資源を余すことなく活用していくために食の問題について新たな考えを創造し、食を通して地域を活性化していこうという内容です。若者の柔軟な考えを活かして大人が実現していくという流れができれば一番良いということを学びました。その中

で私は、「これからの未来をどうするかではなく今ある資源をどのように有効利用していくのか、無駄をなくすのが大切だ。そのためには若者の意見が必要になってくる、その意見を真剣に考え実現していくのが私達の努めだ。」という話を聞きました。私の中で水産に対する思いが単なる興味や関心の対象だったものが、「自分にできることはないのか」「どうすれば今ある資源を有効に無駄なく活用・利用することができるのか」「生まれ育った町に恩返しをしたい」など、自分から考える対象にかわっていきました。

2年次の秋には、未利用資源を上手に活用する講座に参加させていただきました。そこでは、未利用資源であるおからを使って味噌を作りました。おからは豆乳を作る際に大豆から豆乳を絞った際に出てくるものです。たんぱく質、食物繊維が豊富で、安価で栄養満点の優良な健康食品ですが、そのほとんどが廃棄されています。一般的な味噌は大豆、麴、塩で発酵させて作ります。今回は大豆ではなく麦とおから、麴、塩で作りました。家でも気軽に作ることができて、味に癖も無くおいしかったです。この味噌は簡単に短期間に未利用資源を活用して家庭で作れるので、節約にも楽しみの一つにもなるので、もっと広まって欲しいと思いました。私も身近な未利用資源があれば、家で簡単に活用できる料理を考えてみたいと思いました。この講座では身近にある食材にも気づかず全く利用されていないものがあることを知りました。現在実習では、このおからを使った食品の開発を考えているところです。

2年次の冬には、大学と企業や学校、志摩市と連携して行われる、海賊サミットに参加させていただきました。そこでは水産高校で作った缶詰を販売させていただきました。ありがたいことにあつという

間に完売しました。自分たちが作った商品が売れていく様子を目の当たりにしたとき、達成感がこみあげてきました。そこには志摩市長や国会議員の方もいらっしゃいました。高校での様々な取り組みや、未利用魚についての話をし、私たちが作った缶詰を召し上がっていただきました。「これだけ美味しかったらたくさん売れるよ」「志摩市のためにありがとうね」「これからも応援しているから頑張ってね」などと感謝のお言葉や労いのお言葉もいただきました。私の中でこの経験は貴重であり一生の誇りになり、これからもがんばろうという気持ちになりました。そして本当に嬉しかったです。今でも感謝でいっぱいです。

海賊サミットでは講演を3つ聞き、南の島の魚の話、自然を利用したエコな車の話、藻場を回復させるための食害魚を利用するという話でした。その中でも特に、食害魚をペットフード化させようという取り組みに心が惹かれました。黒潮の蛇行や地球温暖化により変わってしまった生態系が引き起こす食害によって、豊かな藻場が減り続けている今、その原因となっている魚介類をペットフードとして活用して減らし、藻場を復活させようという考えに共感しました。現在、実習でも食害魚を利用した食品開発に取り組んでいます。志摩のアオサやフノリと混ぜ合わせた試作品もつくりました。この講演で学んだことを来年度の豊かな海づくり大会で提供する食品開発に生かすことができました。食害魚を利用する地域貢献と、特産物を使う地域広報につなげていきたいと考えています。このサミット終了後には大学の教授や水産会社の方々と話をすることもでき、本当に貴重な一日となりました。話をしていくなかで、日々の学校生活を頑張ろうという気持ちと、地域貢献への気持ちが高まりました。

他にも様々なイベントに参加させていただきました。志摩市の和具で開催された「あわび王国祭り」では、水産高校の展示スペースを設けて頂き、缶詰の配布を行いました。水産高校の実習製品について興味を持って話をしてくださる方々や、「いつも元気もらっているよ」「頑張っただけ」など、あたたかい言葉をかけてくださる多くの方々に出会い、地域の温かさを再度実感できました。直接ことばをかけていただけると気持ちの高揚も違います。地域でいただいた皆さんの声は本当にあ

りがたかったです。

私は水産高校を通して沢山のことを学び、人としても成長することができました。販売実習をすることでコミュニケーション能力を高めることができ、缶詰作りなどの実習では班の人と協力することで協調性を身につけることができました。さらに、私達の考えによって捨てるはずだったものに価値が生まれることを知り、考え方をかえる大切さに気づけました。また、現状や課題を意識することの重要性にも気づきました。それと同じようにお客様や地域の方の応援のありがたみを身にしみて感じることができました。

私はこの水産高校がとても大好きで心から一番すばらしい高校だと思っています。他の高校ではできない経験や楽しみが多くあります。雰囲気も良く、入学して良かったと思える最高の学校です。私は、卒業後は専門学校に進学し、その後は志摩市に住みたいです。水産高校で学んだ皆さんのことをさらに高めて、このあたたかい町を盛り上げるために貢献したいと思います。

今の学びを未来へ

伊勢学園高等学校

普通科 看護医療コース 3年 鶴殿 由里

私は、幼い頃から人の役に立つ仕事に興味を持っていました。伊勢学園高等学校に入学した時はまだ看護師を目指していたわけではなく、中学校で陸上競技部に所属していたことから、身体のケアができる「理学療法士が良いかな」と考えていました。しかし、看護医療コースでの看護の授業や先生からの指導を受けていくうちに、患者さんに一番親身に関われる職業だと思い、次第に看護師という職業に興味を持ち始め、強く惹かれるようになりました。

看護医療コースでは、基礎学力や一般教養はもちろん、専門教科として社会福祉と看護学の二種類について実際に国家資格を持った先生方から直々に教わることができます。授業は座学と実技があり、座学は人体の構造について詳しく学んでいます。人体の構造を理解することで健康管理や病気の予防、治療に役立つ知識が得られました。医療や看護は人体の構造を理解することが基本なので、高校のうちにも何度も頭に叩き込むことで医療系の専門学校・大学に進学した際、スムーズに学んでいけると感じました。

実技の際は生徒が患者と看護師役に分かれて実習を行います。介護に対する患者さんの気持ちを理解することができたり、より良いケアをするためにどう動けば良いのか自分たちで考えたり、何度もこなすことで、動きが身に付きました。また実技を通して様々な状況に対応するために柔軟な思考や問題解決能力が養われたり、コミュニケーション能力の向上に繋がったりもしました。

二年次にある施設実習は、生徒が各施設に分かれて四日間の実習を行い、一日ごとに自分たちで

目標を考えてそれに向かって実習に取り組みました。実習の前日は、うまくこなすことができるのかという不安がありましたが、学校で学んだことを何度も振り返り実習に向けての心の準備を行いました。

実習一日目の朝は、施設についての説明から始まり、その後各階に分かれて実習を行いました。見学といった形でこの日は終わりましたが、実際にプロの現場を見ることで得られるものがたくさんありました。介護をするうえでの工夫がたくさんあり、学ぶことが一番多かった日だったと思いました。特に印象に残ったことは介護士の方が入居者さんの目線に合わせゆっくりと大きな声で声掛けを行っている姿でした。目をしっかり見ながら笑顔で話しており、利用者自ら積極的に話す姿を見ることもできました。この姿を見て、私もコミュニケーションを取る際、利用者が自ら話しやすい雰囲気づくりをしていきたいと感じました。

二日目は、デイサービスを担当しました。利用者さんに飲み物を出す際にコミュニケーションを取ることを意識して取り組みました。最初は何を話せば良いのか戸惑うばかりでしたが、介護士さんにアドバイスをもらいながら積極的に話すことができました。自由時間になると、たくさんの利用者さんから話しかけてもらい、一緒に塗り絵をしたり、パズルを解いたり、折り紙を一緒に折ったりと楽しい時間を過ごしました。利用者さんとの会話の楽しさを知った一方で、コミュニケーションを取ることの難しさも知りました。

三日目は、部屋のシーツ交換や掃除を一人で任せてもらいました。シーツ交換は学校より狭い場

所で行いました。予想以上に身動きが取りづらくかなり苦戦しましたが、一日目に担当の方から教わった動きを実践してみると狭い場所でも簡単にシーツを交換することができました。利用者さんが困ることがないように、なるべく物の位置が変わらないよう注意しながら掃除を行い、物や家具を動かした場合は、元の位置に戻すなど配慮することを教わりました。他にもベッドに置かれている使用したマスクなどを捨てる際は、必ず利用者さんの許可を取る必要があると教わり、この日は今までの経験を活かしたり、利用者さんに対する思いやりや気遣いを身近に感じられたりしました。

四日目は、担当者の方と一緒に利用者さんのもとへ向かいおむつ交換を行いました。無意識に足をかく利用者さんに対して、おむつ交換がしやすいよう助っ人として手を押さえました。最初はあまり強い力で押さえたいと思いましたが、弱い力で押さえようとしていたのですが、それだとすぐに振り払われてしまうので力加減が難しく、思っていたより強く押さえることになりました。結果としておむつ交換をスムーズに行うことができ、担当者の方にも「それで良いよ」と言っていただきました。利用者さんを介助する際、状況に応じて強い力を加えることも必要なのだと新たに学ぶことができました。ひと通りおむつ交換が終わった後、食事介助を見学しました。食事介助は、利用者ができる限り自分で食べられるように工夫する様子が伺えました。また、焦らず利用者さんのペースに合わせて、嚥下したことを確認してから食事を口に運ぶよう教わりました。寝たきりの利用者さんの食事介助では、しっかりと食事を摂ってもらえるように、わざとスプーンを動かして興味を持ってもらってから食事を口に運ぶといった工夫も見られました。食事介助を実践することはありませんでしたが、たくさんの工夫が詰まっており、新たな気づきが多く得られました。

四日間の実習を振り返ると、最初の頃は緊張と不安でいっぱい、初めての環境や多くの利用者さんとの接触到ドキドキしていました。実習が始まると、次第に緊張は和らぎ、楽しいと感じる瞬間が増えていきました。特に利用者さんとのコミュニケーションやベッドメイキング、食事介助などを通じて学校での知識だけでは得られないことばかりで、私にとって、非常に良い経験・勉強を

させていただきました。指導していただいた担当の方々から実習で教わったことを基本に、これからは患者さんに寄り添った看護を目指し努力していきます。

現在、私は看護師を目指し日々の勉強や実習に励んでいますが、この経験を通して看護師になりたいという気持ちがより一層強くなりました。この道を選んだことで、看護という仕事を持つ深い意味や責任を感じています。医療は常に変化しており、今後も新たな知識や技術を学び続ける必要があると実感しました。これからは、看護師としてのスキルを磨きながら、患者さんに親身に寄り添い、信頼される看護師になれるよう努力していきたいと思います。今の学びが未来に繋がることを信じ、前向きに進んでいきます。

三重県産業教育振興会 総合学科部会長賞 (作文の部)

公益財団法人産業教育振興中央会賞 佳作 (作文の部)

名張の現状と私のこれから

三重県立名張高等学校
総合学科 3年 中川 莉那

私は様々な検定を取得でき、名張市と地域連携する授業があるところに魅力を感じ、総合ビジネス系列の情報処理専攻を専攻しました。私は高校1年生の時からインナーマッスルを鍛えてボディラインや姿勢を整えるエクササイズである、ピラティスのインストラクターになり、名張市で起業したいという夢を持っており、そのために商業に関わる勉強や、地域連携をし、地域の魅力や強みを学びたいという思いがありました。また、起業したときのオフィスワークスキルや、経済活動に関する知識を身につけるために検定を取得したいと考えました。私が名張で起業したいと考えている理由は、自分自身が思い入れのあるこの名張のために、貢献していきたいと思ったからです。名張の人々の心身のサポートをすると同時に、名張をより魅力ある町にしていきたいです。

総合ビジネス系列情報処理専攻で実際に学び得たことは、仲間と協力し、努力することです。特に総合ビジネス系列は、様々な検定を取得できる系列であり、検定取得のための勉強をする授業がたくさんあります。その中で自分だけが落ちてしまうかもしれないという不安や焦りでプレッシャーを感じる時がありました。そんな時、友達同士で分からない問題を一緒に考えたり、得意な友達にたくさん質問をしながら理解を深めたりすることで、一人じゃないという安心感を得ることができ、お互いを高め合える存在になれたと感じました。

また、総合ビジネス系列では、名張市の現状、強みを情報収集し、名張市の特産物を使った商品開発や、その商品がどうすれば売れるかを現在勉強しています。商品開発をするにあたって、名張

市の観光地はどこか、特産物はなにか、誰にどのように販売するか、原価や売価の設定などを細かく考えたり、作る側、売る側、買う側も価値のある商品にするために考えたりしています。

名張の現状は少子高齢化、人口減少、観光客の少なさが課題であり、強みは、大阪や、名古屋、京都のアクセスが良く、自然豊かでありながらも、田舎すぎず、都会すぎない「ちょうどいい」が手に入る町だということです。このように名張について学ぶことで、客観的に名張を見ることができ、普段生活をしている中で、もっとこうしたらよい、こういうところがすごいなどの新しい発見を日常的に見つけることができていると思います。人口減少に関しては、人口を増加させていくために名張市民の子供に向けた支援をもっと増やしていくべきだと考えています。そして、名張のすごいところは人と人の関係が深いところであり、お店の口コミが影響すること、リピーターを増やしやすいため、地域の人と沢山コミュニケーションを取って、思いやりのある行動をしていくと、より良くなっていくと思います。

私はこの系列で学んできたことをもっと深く学ぶために4年制大学に進学し、起業するための力を身につけていきたいと考えています。例えば、自分自身がどんな会社をしたいのか、ターゲットはどのような人なのかなど、高校でじっくりと計画してきたことを、大学ではより具体的に考えるために学びたいと思っています。また、大学は様々な考えや、経験をしてきた人たちがたくさんいると思うので、そのような人たちと交流し、自分自身の価値観を今まで以上に広げていきたいです。

私が今考えている起業のビジョンはお客様が心身ともに元気になって、明日もがんばろうと思ってもらえるようなサービスを提供したいというものです。名張の現状の少子高齢化、人口減少を改善していくために高齢者に向けた、健康増進と病気予防、子供の頃から健康であり続けていくために小学生など小さな子どもにむけたピラティスを行い地域に貢献していきたいと考えています。

私は、誰かの息抜きになって、軽やかに動き出せる気持ちになれるような会社をつくりたいです。現在の日本では精神的幸福度が満たされていないという人が多いと感じます。人に気を遣いながら過ごしていたり、人の目を気にして自分の好きなことができなかつたりなど、自分の個性を出せずに生きている人がいると思います。そのような人の「息抜き」になれる場所でありたいです。せめて、ピラティスに来るときは自分の好きなトレーニング服を着て、好きな髪型ができる、というような、本当の自分になれる場所が必要だと思うからです。

明るく、前向きになるために必要なことは、自分自身を見つめ、自分に自信をもつこと、小さな目標を立てて達成感を得ること、ポジティブな言葉を使うことだと思います。ピラティスを通して、どんなスタイルになりたくて、健康を維持していきたいか目標を決め、それを達成するために努力することで、達成感を味わえます。そうすると心身ともに健康になり、ポジティブな言葉も自然と出てくると思います。ピラティスをきっかけに自分に自信をつけて、明るく、前向きになってほしいです。

これから日本は少子高齢化、人口減少が続き、さらに名張市は、県外に就職する人が多く、若者が少なくなってきました。その若者は、スマートフォンの影響で家に滞在する時間が長い上、中学校の部活動がクラブ活動化しており、運動をする機会が減ってしまい、健康維持ができなくなってしまう可能性があると言えます。このような現状を変えていくために、小学生、中学生に向けたピラティス教室を開いたり、学校の一つの行事として導入したり、クラブ活動の準備運動として取り入れるなどの取り組みを行っていきたくと考えています。

名張市は団地が多く、交通手段が少ないため、

高齢者の方々に対しては、自治体と協力し、私自身が名張市内の地域を訪れ、教室を開くという取り組みを考えています。こうして、各年代に合わせたアプローチを行い、名張市民が心身ともに健康で、明るく、前向きな町になり、ここでずっと暮らしたいと思える全国で“ピラティス人口が1番”の町にしていきたいです。そのために、私自身が前向きで、沢山の人の笑顔にできるような人になっていきたいと思っています。

私は、名張高校で検定取得の経験から知識、技能を身につけたと同時に、仲間との信頼関係を得ることができ、一人よりも、人と関わって前に進んでいった方がより良い結果が出せると学びました。この経験を生かし、起業のビジョンを持ち、名張を良くするために、今いる仲間や、これから出会う人達と共に、名張の将来を考えていきたいです。

名張高校にいるからこそ、名張の現状、強みを知り、どんな会社にしていきたいか、どんな名張にしていきたいか、深く考えることができました。また、系列の違う仲間と学べたことで、視野も広がりました。この名張高校での学びを活かして、名張を支えられるような存在になりたいです。

実習を経験して分かったこと

三重県立明野高等学校
福祉科 3年 松崎 七菜

私は小さい頃から子どもと関わるのが好きで、将来は保育士になりたいと考えていました。そのため明野高校に入学した頃から保育所や児童館で実習ができることをとても楽しみにしていました。しかし、今まで障害者の方や生活介護を必要とされる方と接したことがなかったので、施設での実習に対しては不安と恐怖があり行きたくない気持ちでいっぱいでした。期待と不安の中、三年間で様々な施設へ実習やボランティアに行かせていただき、学校の授業では学ぶことができないとても貴重な経験を積み重ねることができたように思います。その中でも強く印象に残っていることが二つあります。

一つ目は、知的障害者支援施設へ実習に行かせていただいた時、自分の心の中に隠れていた障害者の方への偏見に気が付いたことです。実習初日の初めに職員の方から「この利用者の方には気を付けてください」と言われ利用者の写真を見せていただきました。実習生が近寄ることで利用者が自分の髪の毛を引っ張ってしまったり、女性の身体を触ってしまうことがあるため近寄らないでくださいとのことでした。また、自宅へ帰りたという気持ちから勝手に外へ出て行ってしまう利用者さんがいるため、各部屋の出入り口のドアは常に施錠を忘れないようにとの説明もありました。話を聞いている間、私の恐怖心が限界になりそうで頭の中が真っ白になり、言葉では表現できないモヤモヤとしたものが胸の奥に広がりました。そして、職員さんが施設を案内して下さって「ここからは利用者さん達が生活するスペースになります」と鍵を開けて部屋の中に入った瞬間、今まで感じたことのない空気によって身体が一

瞬で固くなったことが今でも忘れられません。そこには利用者さんの視線に目を合わせないようにしている自分がいました。また、職員さんに「利用者さんが話しかけてきても何と言ったか聞き返さないで相槌をうつだけでいいですよ」と教えていただいたときは良かったと安心した自分がいました。しかしその後、職員の方々が利用者さんに笑顔で真剣に向き合いテキパキと働かれている姿を見ているうちに、どうして私は恐怖を抱きながら無表情で立っているのだらうと感じました。もし、私が好きな子ども達がいる保育園で保育士さんに同じことを言われたら、良かったと安心などできるはずがなく、どうしてそんな冷たいことをするのかと納得できないだらうと思います。それに全ての出入り口を施錠するのは利用者さん達を閉じ込めているわけではなく、利用者さんの安全のためなのです。そのことに気が付いたとき、わたしの中にあった感情は障害者の方への偏見ではないのかと、はっとしました。しばらくして音楽の時間になり私は思い切って利用者さんに声をかけ手作り楽器を手渡してみたところ、ありがとうと言っていただき、少し不安が消えたような気がしました。この経験から「福祉」とは思いやりや優しさが不可欠であり、障害者の方の生活の現実や実態を知ることが差別や偏見を無くす第一歩になるのではないかと考えるようになりました。

そして二つ目は、笑顔には目に見えない力があると感じたことです。夏休みに児童館でボランティア活動に参加させていただいた時、おやつ時間に一人だけおやつを食べずに立って見ている女の子がいました。女の子はとても淋しそうな表情をしていましたが、私から近づき笑顔で声をか

けてみると女の子の表情がぱっと明るくなり嬉しそうな笑顔で話をしてくれました。また、児童発達支援生活介護施設で実習をさせていただいた時、身体を動かしたり話すことができない障害者の方がいました。私が目を見ながらゆっくり声をかけると、かすかに目が動いて優しい笑顔を返してくださいました。声を出して会話ができなくても笑顔によって気持ちが通い合えたような気がしてとても温かい気持ちになりました。さらに保育園で実習をさせていただいた時は、子ども達の笑顔を見るとこの純粋な笑顔を守ってあげたいという気持ちが溢れてきて私はたくさんのエネルギーを子ども達からもらいました。このように様々な実習先でたくさんの方の笑顔に触れるうちに、私は人の笑顔を引き出せるような人になりたいと強く思うようになりました。

実習は学校で学んだ介護や支援の知識を実践するだけの場ではなく、人と人との関わりや相手の気持ちを汲み取ることの大切さを学ぶ場でもあります。さらにそれだけでなく、これから私達が社会の中で生きていく上で必要な知識や常識を身に付け、自分自身を知ることができる貴重な時間であると強く感じました。実習先で出会った様々な施設の職員さんや利用者の方々、児童館の先生方や保育士さんと子ども達、地域のボランティアの方々など本当にたくさんの方から教科書では学べないことを学ばせていただき、貴重な経験ができたことは私の一生の財産になりました。私は人の気持ちに寄り添い誰からも頼られる保育士になれるようこれからも精一杯頑張っていきたいと思います。

システムメディア科で学んだこと

三重県立亀山高等学校
システムメディア科 3年 桑島 慧至

私は亀山高校システムメディア科に進学するまではパソコン、情報分野の知識が全くなかった。入学当初は、クラスメイトがパソコン慣れしていることに驚きながら、なんとか追いつき、情報の授業を受けていたことを覚えている。本作文ではこんな私が高校3年間で何を考え、何を努力し、どう成長したかについて話したいと思う。

1年生では、WordやPowerPoint、Excelの使い方やタイピングなどのコンピュータを扱う上で必要な技術や、情報分野を学ぶ上で必要な知識について学んだ。情報の分野ではひとつ理解できないと、次々に理解が追いつかなくなると感じ、すぐに解説してもらおうことを心がけた。このとき早くも周りとの差を感じており、少し挫折をしていたが、近くの友達や先生に教えてもらいながら学んだことで情報を得意分野にすることができた。ここで自信をつけたことが、2、3年生のモチベーションを保つことにつながったと感じている。

2年生では、ITパスポート取得に向けた勉強や、プログラミングの授業といった、より実践向きの学びの場が増えたと感じていた。このとき、自分の弱みが見えてきており、計算問題に対する論理的思考、時間に追われながら問題を解決する能力が足りないことがわかった。クラスメイトとの努力や才能の差を感じ、高校生活で一番大きな挫折をした。自分の弱い部分は練習問題を数回解いたり、語句を覚えたりすることで解決できず、今も尚克服できていない。だが弱みとともに記憶力や、人に説明する力などの強みもわかった年でもあった。このときから自分の強みを理解し、伸ばしたことで、ITパスポート試験合格に繋がったと感じる。高校卒業までに弱みである部分をしっかり見

つめ直し、大学生生活に活かせるよう頑張っている。また、プログラミングの授業では最初から最後まで、初めてのことばかりで困惑することが多々あった。自分はシューティングゲームを作ったが、弾の処理である、生成、弾数の制御、弾の速度、弾の判定、弾の消去とあまりの多さにびっくりした。それに加えて、私は弾の速度(ブーメラン型)、弾の生成(ある点を中心とする円に沿って弾を生成)、制御(回転しながら中心に向かう弾)などこだわりを持ってゲームを作っていたので、期限までに完成はできなかった。こだわりを持ちながら、期限までに完成し切ることの難しさと、完成したときの達成感を誰よりも感じたと思う。そしてプログラムを考える中で、基礎的な数学、物理の知識と英語力は自分の作りたい物の幅に大きく影響すると実感した。この授業では何を、どのように、どの期間で作成するかについて考えることを意識して作っていたと思う。今回は初めてだったこともあり、期間を大幅に変更してしまったが次からは変更を小さくできるよう頑張っていく予定だ。この1年間で今までの人生で一番新しいことに挑戦し、一番成長できた年だと感じる。それと同時に、システムエンジニアになりたいという将来就きたい職が見つかった。小学生、中学生で将来の夢を聞かれて困っていた私が、全力でプログラミングに取り組み、思っていた通りの動きをしたときの達成感を感じたことで、将来の夢を堂々と言えることができ、そのことをとても嬉しく思う。

3年生では、情報をセキュリティの観点から学び、コンピュータを様々な問題から守る方法や社会で使われている情報機器や用語について学び、

知識を深めるなど、1, 2年生の範囲を専門的に取り組んでいる。セキュリティの分野では自分の強みを最大限活かし、公開鍵暗号方式などの少し複雑なシステムの仕組みを友達に教えられるほどしっかり理解し授業に取り組んでいるため、私自身の力になっているという実感がとてもある。ほかにも基本情報技術者試験にも挑戦している。A 免除試験は合格したが、B 試験は私の苦手な分野で苦戦している。落ちてしまったが2回目を受けたときに大きな変化を感じた。1回目とは違い、すべての問題に対して理解をしながら解くことができた。思考問題に対して、理解ができるようになったことは大きな成長だと感じる。論理的思考などが苦手な分、少しでも問題を多く解き、弱点を補えるようにしたことが大きかった。次の基本情報では計算ミスが減らしていくことが合格に近づく1歩だと考える。このような反省と次回にするべきことをまとめられるようになったことは3年間での大きな成長の一つである。またそれを実行する力が備わってきた実感とともに実績も積んでいると感じる。その他にも、Web サイトやプログラムを作り、実際に人に提供、発表することも多くなっている。Web サイト作りでは、部活動に取材に行きその部活動のWeb サイトを作り、実際に亀山高校のWeb ページに掲載されるという、ある意味仕事のような授業をしているがそこでは、クライアントの要望をしっかりと実現することが求められている。それは私の夢であるシステムエンジニアが必要とする能力と同じものであり、今回のこのWeb サイト作りは私にとって大切な授業になると考える。現在、顧問の先生への取材を行っている最中だが、より詳しく情報を聞き出し、顧問の先生に気に入られるようなWeb サイトを作りたい。プログラムの授業では、プログラム言語、作業環境から何を作るまで、自分で決めるという自由なものである。私は自分の実力に合わせてくれるオセロ AI をコンセプトに制作をしている。そして、まずオセロの基盤となるルールや、オセロの作り方などを調べながら、どのようなアルゴリズムで動いているのかについて理解し、プログラミングしており、現在は人対人として打つことができるオセロが完成している。これにAI をどのようにして、落とし込むかは検討中だ。今は夏の全国専門学科情報科研究協議会という情報コン

ペに向けて準備を進めており、オセロ AI の開発は中断されている。私は提出する文書をまとめる役割を頂いたため、実際にコーディングをしながら開発は行わないが、日程の管理や進捗管理をなど、影で支えつつ、より良いものを作っていきたい。多くの人たちの前で発表することは、責任や重大さが大きく異なり、緊張感を持って開発に携われていると感じる。大きな舞台、多くの人前で自分の作ったものを発表できる経験は高校生の私にとって、とても有意義なものになっている。発表等はこれから行われるので、最善を尽くしていきたい。3年生の学習では、グループ活動や鳥取でのコンペなど自分一人で学習が完結しないものが主な活動となったため、期限や進捗を話し合いながら決めることが増え、団体に動くことの難しさに気づいた。

私のシステムメディア科の3年間は多くの経験と成長を感じさせた。3年間を通し、私自身の考え方にも変化があり、パソコンやスマートフォンなどのコンピュータ機器に対する考えがその一つである。娯楽の道具として見ていたものが、授業や実習を通してセキュリティ面やプログラム面などの多角的な見方をすることが多くなった。このことが3年間の成長を感じるきっかけの一つとなった。もうすぐ大学生になる予定であるが、そこでもシステムメディア科で学んだ私自身の弱み、強みを理解することの大切さ、グループワークの難しさについて忘れず活かしていきたい。そしてシステムエンジニアという職につけるよう頑張っていきたい。

エネワンカーづくりを通して思うこと

鈴鹿市立天栄中学校
3年 中原 進之介

私は2年生の頃からエネワンの活動をしていました。当時、同学年でエネワンの活動をしている人は自分以外にいませんでした。

エネワンは乾電池40本で走る車を製作し、鈴鹿サーキットを走る競技です。構想や設計を行い、競技の規則に合った車両づくりを自分たちで行う必要があります。そのため、創造力をフルに発揮させた努力が、実際の車両として形となる価値ある競技となっています。また、動力源である電池に充電ができないため、電力容量の使用配分や走行のペース配分を考えながらエネルギーマネジメントをすることが必要となります。

その競技には、毎年、高校生や大学生、一般の人たちも参加しています。他のチームのエネワンカーは金属を主材料としていましたが、中学生である私たちは金銭面や技術面で到底使用することはできず、木材で作りました。

当時の私は、製作の中心である先輩のサポートをしていました。頼まれた工具を持って来たり、アイデアの共有もしたりしていました。それだけでも、一緒に作っているのが楽しくてワクワクして、でも間に合うのか心配になって、自分がしたところは大丈夫かなと思うばかりでした。でも「大丈夫だよ」と先輩たちは私に言ってくれました。自分自身が先輩たちに必要とされているのがとても嬉しかったです。

そして、大会直前、なんとかエネワンカーが完成しました。3周の出走の内、1周目、2周目はトラブルにより出走することは叶いませんでした。しかし、3周目でやっと出走することができました。しかし、途中でリタイアしてしまいました。

大会後、先輩たちは私たちのために、どこがダメだったのか改善点は何なのか、反省すべきとこ

ろはどこなのか、来年の大会で出走するための意見を出してまとめてくれました。この日から、私は先輩方に最高の恩返しをするにはどうすればいいのか考えるようになりました。しかし、やるべきことは、初めから決まっていました。それは先輩たちがくれた経験とデータをもとに自分自身の目標であり、先輩たちの目標であった「中学部門で優勝する」ということです。

エネワンで優勝するためには、コースを3周し、完走することが最低条件です。それは、単純なことかもしれませんが、高校生、大学生、一般のチームでも、それを目標として取り組み、そして、難しいことでもありました。なぜなら、私たちが走るコースは、高低差があり、低速から高速コーナーがあつて、世界的に見ても珍しい車両負荷が高いコースだからです。それは、世界のF1ドライバーも難関という日本で最長のコースだということです。しかし、難関だというのは、みんなにとっても同じことで、そして、そんな難関な鈴鹿サーキットを走り切るチームはたくさんいます。ならば自分たちもできるだろうと思い、先輩方に恩返しをするために完走に向けて準備をしていきました。

まずは、先輩たちがまとめてくれた意見をもとに、どこを改善するかを考えました。そして、主材料が木材だったため、強度や耐久性が低く、ドライバーが乗るとたわんでしまって、本来想定していたのとは全く違い、車両やタイヤが歪んでしまっていたのが原因だと考えました。そこで、主材料を金属として製作することを決めました。

初めに正確な設計を行わなければいけないので、コンピューターの3DCADを使って、ほぼ完成形を想像しながら設計を行いました。そのと

き、先輩方の経験とデータを頭において、綿密に設計を行いました。また、車体の主な材料を金属とするため、初の試みである金属溶接を行いました。溶接は人生で初めてで、初めは、恐る恐る取り組んでいましたが、回数を重ねるごとに少しずつうまくできるようになりました。材料それぞれの材質に対しての電圧や電流などの調整もできるようになりました。しかし、溶接をする際にはつなぎを着て、防護マスクをつけて行うので、7月の作業時には、クーラーがついているにも関わらず、炎天下にいるような暑さでした。

ようやく、形になった車を試走させ、問題点や改善を考えようとしたときに、大きなトラブルがおきました。実際に走らしてみるとき溶接をした箇所が外れてしまったのです。私は、絶望しました。しかし、顧問の先生に助けをいただきながら、補強材を足し、溶接をし直して、なんとか直すことができました。

大会当日、1周目と3周目のドライバーを私が担当することになりました。2週目は後輩である部員が走ります。1週目は、2週目の後輩のドライバーのために安定したスピードで、できるだけ多くの情報を収集するのに必死でモーター音やモーターに流している電流の量、どの走り方がいいのか気にしながら走りました。そして、なんとか1週目を完走し、チェッカーフラッグを受けることができました。安心したのもありますが、それよりも先に、2週目を走る後輩に、1週目で得た情報をできるだけ伝えないという気持ちがありました。2週目も無事に出走し、完走することができました。最終的には、3周目の1,2kmの地点で止まってしまう、目標としていた3周完走、中学校部門優勝を果たすことはできませんでした。

原因として、考えられることは電池の残量が少なかったこと、モーターの動力を伝えるためのチェーンの張りがきつくてモーターに負荷がかかっていたこと、車体の重量が重かったこと、車体自体が大きいので空気抵抗も大きかったことなどが考えられました。

目標としていた優勝はできず、先輩方には申し訳ない気持ちもありました。しかし、自分たちで1から製作したエネワンカーがF1ドライバーも走るコースと同じフルコースを走ったことには感動しました。そして、3周完走はできませんで

したが、先輩たちの思いや改善点を生かしてコース2周を走り切ったことで、先輩たちの思いをつなげることができたと思います。

今度は、来年の大会へ向けて、これからエネワンカーを製作していく後輩たちに、部長として先輩として多くの思いを、先輩たちと同じように残していきたいです。

エネワンのおかげでいろいろなことを教えてもらった先輩や今の自分を支えてくれる後輩たちに会うことができ本当に良かったです。

農業部会

1. 三重県高等学校教育研究会農業部会総会

期日：令和6年5月7日（火）

会場：四日市農芸高等学校

内容：農業部会の昨年度の活動報告と今年度の活動計画を提案し、これからの農業教育の在り方について確認しました。また、関連議題として三重県農場協会、三重県農業教育振興会、三重県学校農業クラブ連盟の活動についても協議しました。

2. フラワーアレンジメント三重県大会

期日：令和6年6月9日（日）

会場：伊賀白鳳高等学校

内容：第36回全国産業教育フェア福井大会、第23回全国高校生フラワーアレンジメントコンテストの予選を兼ねており、最優秀・優秀に入賞した2名は10月26日の全国大会に出場しました。

結果：最優秀 白井 琴音（四日市農芸高校）

3. 意見発表三重県大会

期日：令和6年7月16日（火）

会場：三重県総合文化センター

内容：東海ブロック大会プレ大会として、開催した。Ⅰ類、Ⅱ類、Ⅲ類の各分野に分かれて、競い合いました。農業教育を通じて学んだことを中心に、普段感じている事や将来の夢などについて発表しました。

結果：最優秀

Ⅰ類 門田 鷗介（愛農学園農業高校）

Ⅱ類 服部 大輔（久居農林高校）

Ⅲ類 蔵城 劉（四日市農芸高校）

4. 東海ブロック大会

期日：令和6年8月7日（水）

会場：三重県総合文化センター

内容：三重県を舞台に各種競技会が開催されました。惜しくも全国大会への切符は逃しましたが、日頃の活動の成果を三重県代

表として遺憾なく発揮することができました。

5. 家畜審査競技会兼F F J 検定上級

期日：令和6年8月2日（金）

会場：三重県家畜研究所

内容：肉牛の部と乳牛の部に分かれて審査、筆記試験をおこないました。4頭の黒毛和牛を比較し順位付けをおこない、最優秀賞、優秀賞を決定しました。また、受検者全員が筆記試験に合格することができました。

結果：最優秀

肉牛の部 乾 恵奈（久居農林高校）

乳牛の部 藤原 貴良（四日市農芸高校）

6. 平板測量競技三重県大会

期日：令和6年8月1日（木）

会場：久居農林高等学校

内容：各校より代表チームが出場し、日々の学習の成果を競い合いました。その結果、相可高校が10月におこなわれた日本学校農業クラブ全国大会平板測量競技会に出場しました。

結果：最優秀 相可高等学校

7. 三重県高等学校教育研究会農業部会研究大会

期日：令和6年8月18日（日）

会場：三重県教育文化会館 大会議室他

参加人数：100名

内容：「実社会とのつながりの中で主体性・協働性等を育む農業教育の推進」～農業教育を通して地域や社会の未来を担う人材を育てる～を大会のテーマとし、講演、特別研究発表、分科会における各校の取組発表、意見交換をおこないました。

【午前】

① 来賓祝辞

② 講演

テーマ「かっこいい農家を目指して」

講師 瑞雲ファーム

代表 中井 奈緒美 様

【午後】

①特別研究の発表

発表題 非農家の農業高校生における

『農業』の将来性について

発表者 愛農学園農業高等学校

教頭 泉川 道子 先生

②分科会

第1 農場運営 第2 地域連携

第3 進路保障 第4 農業教育

第5 農業クラブ

8. 第75回日本学校農業クラブ全国大会

期日:令和6年10月22日(火)～24日(木)

会場:岩手

参加人数:40名

内容:意見発表会、プロジェクト発表会、平板
測量競技会、農業鑑定競技会、クラブ員
代表者会議、代議員会に出場しました。
農業鑑定協議会では優秀を受賞するなど、
全国大会でも頑張りました。

参加者

1) 家畜審査競技会 乳牛の部

藤原貴良(四日市農芸高校)

2) 平板測量競技会

相可高校

金谷柊汰、松江夏樹、森下隼太郎、

村田稜真

3) 農業鑑定競技会

(優秀賞)

区分:作物 高田 滉子(四日市農芸高校)

奥田 奏(相可高校)

野菜 和田 遼(久居農林高校)

池口 心莉(明野高校)

食品 寺嶋 和希(四日市農芸高校)

豊田 彩妃(四日市農芸高校)

山口 愛実(久居農林高校)

9. プロジェクト発表三重県大会

期日:令和7年1月24日(金)

会場:津市久居アルスプラザ

参加人数:120名

内容:校内予選を通過した各校の代表者が日々
の学習から得た課題に向き合い、問題解決に向
けて取り組んだ内容を発表しました。

結果:最優秀

I類 四日市農芸高校

II類 伊賀白鳳高校

III類 四日市農芸高校

10. まとめ

今年度は、すべての行事が対面で行うことができ
ました。教員の研修や、実践的な取り組みも各研究
部で活発化しています。また、生徒の活躍が大きく
目立った一年でもありました。今後も、農業の申し
い可能性を追求し、新しい取り組みにも力を入れて
いきたいです。



工業部会

年間活動報告

【2月】

○ものづくりコンテスト三重県大会

2月17日(土)

(電子回路部門) 場所: 四日市工業高校

1位: 津工業 2位: 四日市工業

【5月】

○三重県高等学校工業教育研究会総会・研究協議会

5月10日(金)

場所: 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

総会: セミナー室A



研究協議会(分科会): セミナー室A・B

【6月】

○ものづくりコンテスト三重県大会

6月15日(土)

(化学分析部門) 場所: 四日市中央工業高校

1位 四日市中央工業 2位 松阪工業

(木材加工部門) 場所: 伊勢工業高校

1位 伊勢工業 2位 四日市工業

(溶接部門) 場所: ポリテクセンター三重

1位 松阪工業 2位 伊勢工業

6月22日(土)

(電気工事部門) 場所: 津工業高校

1位 桑名工業 2位 津工業

【7月】

○夏期見学会

電気教育研究会

7月30日(火)

見学先: 東芝産業機器システム(株)三重事業所

【8月】

○三重県高等学校工業教育研究大会

8月2日(金)

場所: 男女共同参画センター「フレンテみえ」

セミナー室A

4校4科の先生の研究発表

ロート製薬(株) 上野テクノセンター長

田中 祐之 様の講演

講演内容「人生100年時代への挑戦」



○夏期見学会

機械教育研究会

8月5日(月) 見学先: (株)中村製作所

建築教育研究会

8月6日(火) 見学先: クラギ文化ホール



○教員技術力向上講習 機械教育研究会

(機械加工)

8月20日(火) 場所: 四日市中央工業

講習内容: 旋盤を用いた角ネジ製作の実習



(溶接)

8月22日(木) 場所: JFEエンジニアリング(株)津研修所

講習内容: アーク溶接作業の技能と指導力の向上



- 教員技術力向上講習 土木教育研究会
8月22日(木) 場所: 四日市中央工業
講習内容: 木工機械メンテナンス



- 三重県工業高校生フェア
・作品展示 ・ものづくり体験
8月24日(土) 場所: みえこどもの城



- 三重県工業高校生フェア・エコテクノ競技大会
8月28日(水)
場所: 鈴鹿ツインサーキット
台風接近の予報のため中止

【10月】

- 教員技術力向上講習 電気教育研究会
10月9日(水) 罰書: 桑名工業高校
講習内容: 第一種電気工事士試験 技能力向上



- 全国高等学校長協会 三重県大会
10月17日(木)・18日(金)
場所: ホテルグリーンパーク津



- 第34回三重県立高等学校産業教育フェア
10月19日(土)～20(日)
イオンモール津南 つどいの広場



- 三重県高等学校ロボット競技大会
10月20日(日)
場所: イオンモール津南 イオンホール
3kg級ロボット
ラジコン型 優勝 津工業 2位 松阪工業
自立型 優勝 四日市工業 2位 四日市工業
500g級ロボット
ラジコン型 優勝 四日市工業 2位 四日市工業
自立型 優勝 四日市工業 2位 四日市工業



【11月】

- 機械教育研究会・研究協議会
11月1日(金) 伊勢工業高校
○自動車教育用教材贈呈式
11月8日(金) 三重日産自動車株式会社



- 授業改善のための実践研修
11月21日(木)
場所: 松阪工業高校
研修授業内容: 電気工学科 電気機器
工業化学科 化学実習

【12月】

○建築教育研究会・研究協議会

12月2日(月) 場所: 四日市工業高校

○土木教育研究会(講習会)

12月4日(水) 場所: 四日市中央工業高校

講習内容: 重機メンテナンス講習



○自動車教育研究会

12月3日(火) 場所: 松阪工業高校

【1月】

○三重県高等学校ロボコン競技大会

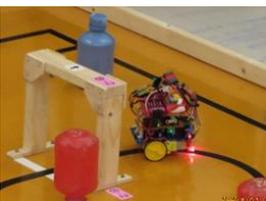
1月26日(日)

場所: イオン津南 イオンホール

ロボット障害物競走 優勝 松阪工業 2位 尾鷲

ロボットアメフトジュニア

優勝 松阪工業 2位 松阪工業



○先端技術講習会

見学先: JFE エンジニアリング(株)津製作所

1月15日(水) 松阪工業 機械科 1年生

1月27日(月) 津工業 機械科 1年生

1月28日(火) 伊勢工業 機械科 2年生

※ 伊勢工業は中部運輸局三重陸運支局も見学

【役員会・委員会】

○役員会

第1回 4月12日(金) 伊勢工業

第2回 5月10日(金) 男女共同参画センター

第3回 6月14日(金) 四日市工業

第4回 7月12日(金) 伊賀白鳳

第5回 9月6日(金) 四日市中央工業

第6回 10月11日(金) 津工業

第7回 11月11日(月) 桑名工業

第8回 1月10日(金) 津工業

第9回 2月14日(金) 津工業

○ロボット実行委員会

第1回 6月4日(火) 伊勢工業

第2回 10月8日(火) 伊勢工業

第3回 12月17日(火) 伊勢工業

第4回 2月18日(火) 伊勢工業

○工業高校生フェア実行委員会

第1回 6月6日(木) みえこどもの城

第2回 10月24日(木) みえこどもの城

○溶接研究会

第1回 6月11日(火) 津工業

第2回 10月29日(火) 津工業

○産業教育フェア担当者会議(工業部会)

第1回 6月27日(木) 桑名工業

○エコテクノ競技実行委員会

第1回 6月28日(金) 四日市工業

○教頭研究会

第1回 7月9日(火) 伊勢工業

臨時 9月30日(月) 津工業

10月1日(火) 津工業

○教務担当者会議

第1回 12月13日(金) 尾鷲

商業部会

1 商業教育研究会総会

- (1)期日 令和6年5月14日(火)
- (2)会場 三重県総合文化センター大会議室
- (3)内容 令和5年度事業・決算報告
令和6年度事業計画
令和6年度役員改選等

2 三重県高等学校生徒商業研究発表大会

- (1)期日 令和6年7月24日(水)
- (2)会場 三重県総合文化センター 小ホール
- (3)結果

- 最優秀賞 四日市商業高等学校(東海大会出場)
- 優秀賞 松阪商業高等学校
- 優良賞 津商業高等学校、
宇治山田商業高等学校



優勝した四日市商業の発表の様子

3 三重県高等学校商業教育研究大会

- (1)期日 令和6年8月7日(水)
- (2)会場 三重県総合文化センター 小ホール
- (3)内容 テーマ「DX時代に求められる商業教育の在り方を探る」

講演会「プログラミング教育が生み出す新たなビジネス」講師：アシアル株式会社 アシアル情報教育研究所所長 岡本雄樹様
会計分野、総合実践・課題研究分野、ビジネス情報分野、マーケティング・ビジネス経済分野での実践発表および、テーマ別分科会を実施

4 三重県立高等学校産業教育フェア

- (1)期日 令和6年10月19日(土)20日(日)
- (2)会場 イオンモール津南
- (3)内容 開発商品・特産品の販売
各校の特色ある取組紹介ブースの設置

5 東海地区高等学校商業実務総合競技大会

- (1)期日 令和6年11月2日(土)
- (2)会場 津商業高等学校
簿記、珠算、電卓、英文ワープロ、ワープロ、情報処理の6種目において、東海4県から約750名の生徒が参加し競技を実施

6 東海地区高等学校商業実務総合競技大会三重県予選

- (1)期日 令和6年9月7日(土)
- (2)会場 宇治山田商業高等学校
- (3)団体の部結果

| | 優勝 | 準優勝 | 3位 |
|--------|----|-----|----|
| 簿記 | 津商 | 四商 | 松商 |
| 珠算 | 四商 | 津商 | - |
| 電卓 | 山商 | 四商 | 津商 |
| ワープロ | 四商 | 津商 | 稲生 |
| 英文ワープロ | 津商 | 四商 | - |
| 情報処理 | 山商 | 津商 | - |

7 各分野研究委員会研修会

- ①(会計分野)簿記会計セミナー
 - (1)期日 令和7年2月4日(火)
 - (2)会場 松阪商業高等学校
 - (3)内容 授業改善のための実践研修
- ②(総合実践・課題研究分野)企業見学研修会
 - (1)期日 令和6年12月5日(木)
 - (2)会場 有限会社 萩村製茶
 - (3)内容 説明、施設見学等

8 商業教育研究会主任会研修会

- (1)期日 令和6年12月6日(金)
- (2)会場 四日市商業高等学校
- (3)内容 全国商業教育指導者研修会報告
指導者育成講座(ケースメソッド)報告
指導主事より



書店とのコラボ・販売実習の様子(産業教育フェア)

家庭部会

産業教育振興会家庭部会には以下の6校が加盟し、各科、コースでそれぞれの専門的な取り組みを行っています。

- 四日市農芸高等学校 生活文化科
 - ⇒ 食物経営コース 製菓衛生コース
 - 生活福祉コース 服飾経営コース
- 亀山高等学校 総合生活科
 - ⇒ 幼児教育系列 人間福祉系列
 - 食物文化系列
- 白子高等学校 生活創造科
 - ⇒ 食彩コース 服飾コース
- 久居農林高等学校 生活デザイン科
 - ⇒ 食生活コース 衣生活コース
 - リビングコース
- 相可高等学校 食物調理科
 - ⇒ 調理師コース 製菓コース
- 明野高等学校 生活教養科
 - ⇒ デザインコース 調理コース

《主な取り組み》

1 家庭科教育研究会総会・協議会

- (1) 期日：令和6年5月10日(金)
- (2) 会場：三重県総合文化センター
- (3) 参加人数：59名
- (4) 議題
 - ①令和5年度活動報告・会計報告
 - ②令和6年度役員選出
 - ③令和6年度活動計画・予算
- (5) 家庭科教育振興のための協議会
- (6) 講演会

演題：「自然災害から身を守る」

講師：三重県防災対策部 地域防災推進課
地域防災向上班

防災技術指導員 岩本久美様



2 第75回近畿高等学校家庭科教育研究大会 (滋賀大会)

- (1) 期日：令和6年8月7日(水)
- (2) 会場：大津市生涯学習センター(滋賀県大津市)
- (3) 参加人数：302名
- (4) 趣旨：高等学校における家庭科教育の充実・発展を図るため、近畿各府県における研究の成果を発表し、今後の新しい家庭科教育のあり方について研究・協議する。
- (5) 研究発表

【兵庫県】「変化する社会の中で、生きる力を育む学びの実践」～調理実習のリデザイン 基礎基本力の定着と自己肯定感の育成を目指して～

【和歌山県】「郷土の恵みを生かした調理実習から学ぶ」

【京都府】「子育てしやすい社会にするには」～赤ちゃん先生・絵本作り・グループワーク・社会の大ピンチ図鑑作りを通して～

(6) 分科会

【滋賀県】「ロイロノートを活用した授業実践」

【奈良県】『保育基礎』『保育実践』における実習内容と評価方法の工夫」

【三重県】「表現活動における他教科との取り組みについて」

【大阪府】「服飾と美容分野を同時に学ぶことができるファッション・メイクアップ専攻の実践について」

(7) 講演会

演題：「スポーツ栄養学から考える

高校生の『食の自立』について」

講師：立命館大学スポーツ健康科学部

同研究科教授 海老久美子様

3 家庭科技術検定 各種研修会

(1) 被服研修会

期日・場所：令和6年7月25日(木) 白子高等学校

令和6年8月6日(火) 白子高等学校

内容：合同評価会・新4級の評価について

(2) 食物調理技術研修会

期日・場所：令和6年8月16日(金) 相可高等学校

内容：調理技術指導時のポイント

(3) 保育研修会

期日・場所：令和6年8月 8日(木) 高田短期大学

内容：保育における看護技術について

4 三重県立高等学校産業教育フェア

(1) 期日：令和6年10月19日(土)・20日(日)

(2) 会場：イオンモール津南店

(3) 企画

①四日市農芸高校、白子高校、明野高校

ファッションショー



②亀山高校 絵本読み聞かせ&手あそび



③各校展示・即売



④相可高校 弁当販売



⑤白子高校 専門店とのコラボ企画



5 三重県家庭クラブ連盟 研究発表大会

(1) 期日：令和6年10月25日(金)

(2) 会場：四日市市文化会館 第1ホール

(3) 大会スローガン：

「今日の喜び 明日の笑顔に」

(4) ホームプロジェクト発表校

①最優秀賞 明野高等学校 生活教養科

2年 濱口 友香

「カーテンリメイクで快適な住生活を!

父と私の楽しいリメイク大作戦」

②優秀賞 久居農林高等学校 生活デザイン科

2年 木下 煌己

「誰でも簡単 無水調理」

③優秀賞 亀山高等学校 総合生活科

2年 原田 天音

「自分の一生の健康を守ろう!」

6 その他の取り組み

各校で、地域交流、インターンシップ、各種コンクールへの参加、各種講習会、資格取得など、様々な取組が行われています。地域産業に貢献できる人材育成をめざしています。

7 家庭科教育研究会のその他の行事

- ・全国家庭クラブ研究発表大会 (8/1・2)
- ・全国指導者養成講座 (7/25・26)
- ・県家庭クラブ連盟指導者養成講座 (8/9)
- ・北勢地区別協議会、研修会 (12/6)
- ・中勢地区別協議会、研修会 (12/6)
- ・南勢地区別協議会、研修会 (12/2)
- ・近畿高等学校家庭科教育府県連絡協議会

水産部会

- 1 水産教育研究会総会
 - (1) 期日 令和6年4月1日(月)
 - (2) 会場 水産高等学校会議室
 - (3) 内容 昨年度の活動報告、今年度の活動計画、活動体制、各種研究会等への参加教員の確認
- 2 全国高等学校水産教育研究会 関東・東海地区研究協議会
 - (1) 期日 令和6年6月13日(木)
 - (2) 主管校 千葉県立大原高等学校
 - (3) 内容 主題「新しい時代をリードする、創造的な水産・海洋教育とはどのようにあるべきか」
- 3 第60回全国高等学校水産教育研究大会全国大会
 - (1) 期日 令和6年8月5日(月)～7日(水)
 - (2) 会場 ホテルライフオーツ札幌
 - (3) 内容 主題「新しい時代をリードする、創造的な水産・海洋教育とはどのようにあるべきか」をテーマに開催されました。
- 4 関東・東海地区水産・海洋高等学校産業教育意見・体験発表会
 - (1) 期日 令和6年6月28日(金)～29日(土)
 - (2) 主管校 静岡県立焼津水産高等学校
3年水産資源科アクアデザインコースの生徒が、「水産高校で身に着けた探究心」と題して発表を行いました。
- 5 三重県立高等学校産業教育フェア
 - (1) 期日 令和6年10月19日(土)～20日(日)
 - (2) 会場 イオンモール津南店
海洋・機関科3年海洋コースの生徒が生物観察体験を行いました。
- 6 関東・東海地区水産・海洋高等学校生徒研究発表大会
 - (1) 期日 令和6年11月14日(木)～15日(金)
 - (2) 主管校 神奈川県立海洋科学高等学校
水産資源科3年アクアフードコースの生徒が発表を行いました。
- 7 全国マリンロボットコンテスト
 - (1) 期日 令和6年12月7日(土)～8日(日)
 - (2) 主管校 神奈川県立海洋高等学校
 - (3) 会場 海洋研究開発機構 横須賀
海洋・機関科3年水産工学コースの生徒2名が参加しました。

看護部会

桑名高校衛生看護科は、5年一貫教育で看護師を養成する学科です。衛生看護科1～3年と衛生看護専攻科1・2年合計200名が、看護師をめざして日々、学習に励んでいます。臨地実習では病院、施設の方々の御指導の下、直接患者様と関わることで、知識や技術だけに留まらず、多くのことを得ることができ、貴重な学びの機会となっています。



◇論文発表会

令和6年11月11日(月) 柿安ホール

看護論文・作文発表会を開催しました。衛生看護科3年生は祖父の病気および看護臨地実習での患者さんとの関りから感じたことについての作文を発表しました。また、衛生看護専攻科2年生は、臨地実習での学びについての事例研究3編を発表し、5学年で学びを共有しました。



◇戴灯式

令和6年11月14日(木) 本校 体育館

衛生看護科2年生が臨地実習に臨むにあたり戴灯式を行いました。一人ひとり決意の言葉を述べたあと、ナイチンゲールからの灯火を受け継ぎ、全員でナイチンゲール誓詞を唱えました。初めて受け持ち患者さんにケアを行う実習の前にこの式に臨み、看護師としての職責を改めて心に刻む行事となりました。



◇三重県立高等学校産業教育フェア

令和6年10月19日(土) イオンモール津南

身体計測、血圧測定などを衛生看護科1年3名、2年生12名、専攻科1年生5名が行いました。多くの方々にご来場頂き、健康に関心を持っていただけるよう、コミュニケーションを図りながら実施しました。



◆その他

- ・産業教育作文審査会 令和6年8月28日(水) 本校
- ・第55回全国看護高等学校研究協議大会 香川大会 令和6年8月1日(木)2日(金)高松市 3名参加
- ・高等学校看護研究協議会 令和6年10月25日(金)東京都 3名参加
- ・全国看護高等学校長協会東海支部春季研究協議会 令和6年6月25日(火) 3名参加 桃陵高等学校
- ・全国看護高等学校長協会東海支部秋季研究協議会 令和6年12月4日(水) 14名参加 本校

総合学科部会

【三重県の総合学科設置高校 8校】

いなべ総合学園高校、みえ夢学園高校、
飯南高校、昂学園高校、鳥羽高校、
名張高校、あけぼの学園高校、木本高校

- 1 三重県高等学校総合学科教育研究協議会
第1回役員会・総会
(1) 期日：令和6年4月18日(木)
(2) 会場：三重県立鳥羽高等学校
(3) 内容：
 - ・令和5年度事業・決算報告
 - ・令和6年度事業計画・予算
- 2 東海地区総合学科高等学校長協会総会
第1回研究協議会
(1) 期日：令和6年6月21日(金)
(2) 会場：静岡県浜松市福祉交流センターホール
(3) 内容：
 - ・総会（事業・決算・予算報告）
 - ・講演会、研究協議（分科会、全体会）
- 3 三重県総合学科教育研究協議会
第2回役員会
(1) 期日：令和6年7月4日(木)
(2) 会場：三重県立いなべ総合学園高等学校
(3) 内容：
 - ・本年度研究テーマ
 - ・三重県産業教育フェア
- 4 総合学科部会 作文審査
(1) 期日：令和6年8月27日(火)
(2) 形式：オンライン
(3) 内容：
 - ・産業教育に関する研究文・作文コンクールの審査
- 5 三重県総合学科教育研究協議会
第3回役員会
(1) 期日：令和6年10月10日(木)
(2) 会場：三重県立みえ夢学園高等学校
(3) 内容：
 - ・産振作文の審査結果
 - ・全国・東海大会
 - ・三重県産業教育フェア
- 6 三重県立高等学校産業教育フェア
(1) 期日：令和6年10月19日(土)、20日(日)
(2) 会場：イオンモール津南
(3) 内容：
 - ・生徒作品の展示・販売
 - ・地元特産品の販売
 - ・体験コーナー等
- 7 全国高等学校総合学科教育研究大会
(1) 期日：令和6年10月31日(木)、11月1日(金)
(2) 会場：高知県立県民文化ホール
(3) 内容：
 - ・公開授業
 - ・講演会
 - ・各校の実践及び研究発表等
- 8 東海地区高等学校総合学科教育研究大会
第2回研究協議会
(1) 期日：令和6年11月13日(水)
(2) 会場：静岡県立駿河総合高等学校
(3) 内容：
 - ・グループワーク
 - ・授業見学
 - ・研究協議(分科会・全体会)

9 三重県総合学科教育研究協議会

第4回役員会

- (1) 期日：令和6年12月5日(木)
- (2) 会場：三重県立あけぼの学園高等学校
- (3) 内容：
 - ・産業教育フェアの振り返り
 - ・総合学科教育研究大会

12 三重県総合学科教育研究協議会

第6回役員会

- (1) 期日：令和7年2月27日(木)
- (2) 会場：三重県立名張高等学校
- (3) 内容：
 - ・研究紀要の校正
 - ・次年度事業計画・役員体制

10 三重県高等学校総合学科教育研究大会

・職員研修会

- (1) 期日：令和6年12月25日(水)
- (2) 会場：アスト津 アストホール
- (3) 内容：

<前半>

- ・学習成果発表会
 - …県内8校の生徒が各系列の特色ある取組を
発表し、質疑応答を実施

<後半>

- ・ディスカッション
 - …県内4校の1、2年の生徒4人が「総合学科
で次年度以降および卒業後にしたいこと」を
はじめさまざまなことについて話し合い、総合
学科を卒業した社会人のコーディネータが
深める。

11 三重県総合学科教育研究協議会

第5回役員会

- (1) 期日：令和7年1月23日(木)
- (2) 会場：三重県立飯南高等学校
- (3) 内容：
 - ・研究大会の振り返り
 - ・本年度活動の総括
 - ・研究紀要
 - ・次年度の事業計画

福 祉 部 会

1 総会

- (1) 期日：令和6年4月24日（水）
- (2) 会場：三重県立明野高等学校

2 第10回三重県高校生介護技術コンテスト

- (1) 期日：令和6年7月23日（火）
- (2) 会場：三重県立明野高等学校
- (3) 内容：県内6校が出場し、課題に沿った介護計画・介護方法を発表しました。
最優秀校：三重県立明野高等学校
優 秀 校：三重県立みえ夢学園高等学校

3 第9回東海地区高校生介護技術コンテスト

- (1) 期日：令和6年8月23日（金）
- (2) 会場：三菱電機名古屋体育館
- (3) 内容：福祉を学ぶ高校生及び特別支援学校高等部の生徒が、課題事例に対する介護技術とアピールを競い合うことにより、日頃の学習活動で身につけた介護技術の向上を図るとともに、様々な介護の場面において、適切かつ安全に支援できる能力と態度を育成することを目的とし開催されました。また、東海地区で福祉を学ぶ高校生及び特別支援学校高等部の生徒の相互交流の場となりました。東海地区の8校が出場しました。
最優秀校：三重県立みえ夢学園高等学校
優 秀 校：名古屋市立西陵高等学校

4 授業改善のための実践研修

- (1) 期日：令和6年10月29日（火）
- (2) 会場：三重県立いなべ総合学園高等学校
- (3) 内容：「コミュニケーション技術」
授 業 者：三重県立みえ夢学園高等学校
教 諭 伴 のぞみ
指導助言：三重県教育委員会
指導主事 曾野 亜希子

5 第11回全国高校生介護技術コンテスト

- (1) 期日：令和6年10月27日（日）
- (2) 会場：栃木県立宇都宮白楊高等学校
- (3) 内容：全国の地区代表校が出場し、課題に沿った介護を実践し、エビデンスを発表しました。東海地区代表として参加した三重県立みえ夢学園高等学校が奨励賞を受賞しました。

6 三重県立高等学校産業教育フェア

- (1) 期日：令和6年10月26日（土）27日（日）
- (2) 会場：イオンモール津南
- (3) 内容：プチ介護体験
ポップアップカード作り



7 冬期研修

- (1) 期日：令和7年2月1日（土）
- (2) 会場：対面形式およびオンライン中継
（日本福祉大学 東海キャンパス）
- (3) テーマ：「地域と福祉を学ぶ高校との協働」

8 総会

- (1) 期日：令和7年2月20日（木）
- (2) 会場：三重県立明野高等学校

9 春期研修会

- (1) 期日：令和7年3月26日（火）
- (2) 会場：三重県立みえ夢学園高等学校
- (3) 内容：その人らしく生きるを支えるためのACP

情報部会

三重県産業教育振興会情報部会の加盟校は亀山高校だけです。亀山高校は、県内で唯一の「情報」の専門学科であるシステムメディア科が設置されています。全国でも専門学科「情報科」の設置校は少なく15府県に27校しかありません。

亀山高校システムメディア科では、充実した施設・設備の中でコンピュータに関する幅広い知識と専門的な技術を身に付けた高度情報社会で活躍できる職業人の育成を目標としています。

■三重県立高等学校産業教育フェア

10月20日にイオンモール津南で開催された三重県立高等学校産業教育フェアに参加し、生徒がプログラミングを行い制作したゲームの体験を行いました。PCで体験できるゲームには、子どもから大人までたくさんの方が夢中になっていました。



■全国専門学科情報科研究協議会総会・研究協議会

○研究協議会での生徒発表(令和6年8月19日)

会場：鳥取県立生涯学習センター
県民ふれあい会館

内容：「モーションキャプチャを用いた体感型アプリ開発」と題して、課題研究で開発したゲームアプリの発表



■三重県高等学校情報教育研究会の活動

○研究協議会総会(令和6年5月16日)

会場：県立稲生高等学校

内容：

1. 総会
2. 報告：「校務システム (Microsoft365 等)」に関する各校よりの報告
報告者：野入雅彦先生 (四日市南高等学校)
山口健太先生 (神戸高等学校)
古儀豊先生 (伊勢高等学校)

3. 情報交換会

○夏期研修大会(令和6年8月3日・4日)

会場：愛知県立大学

内容：全国高等学校情報教育研究会全国大会に参加

○公開授業研究(令和6年10月31日)

会場：県立四日市西高等学校

授業内容：情報Ⅰ「モデル化とシミュレーション」
授業実施者：西尾茉紘先生 (四日市西高等学校)

○研究大会(令和6年12月4日)

会場：県立稲生高等学校

内容：

1. 講演：「共通テスト」と「新検定」について
講師：株式会社ベネッセ様
2. 実践報告：
「DX ハイスクールと生成AI 実証の現状報告」
向山明佳先生 (名張青峰高等学校)
「DX 推進事業における亀山高校の本年度の取り組みと今後の展望」
中村俊介 (亀山高等学校)

3. 情報交換会

中学校部会

創造アイデアロボットコンテスト三重県大会は、今年度で第20回目の開催となりました。

ルールに関しては、「基礎部門」、「計測・制御部門」、「応用・発展部門」の3部門があります。基礎部門に15チーム、計測・制御部門に8チーム、応用・発展部門に14チームがエントリーしました。また、参加校は6校とNPO法人からの1チーム、エントリー生徒数は107名となりました。

大会結果 ■ロボコン大賞

三重大学教育学部附属中学校

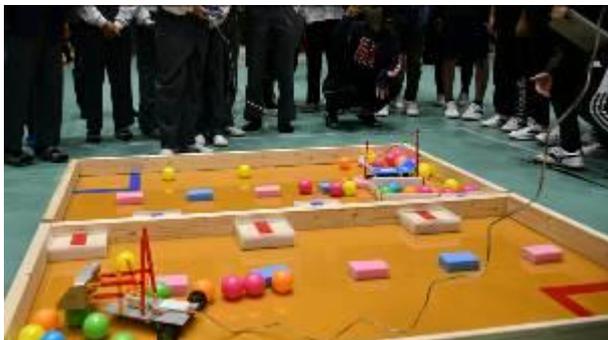
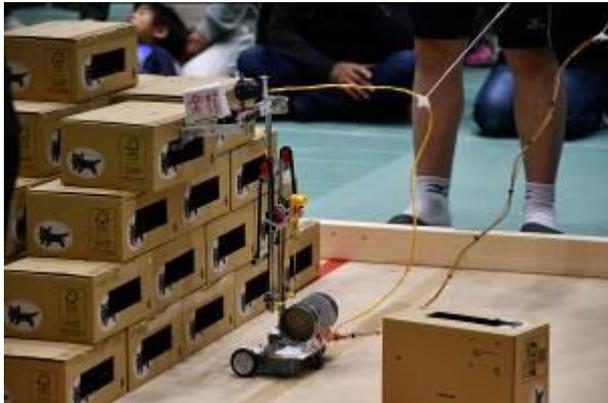
■応用・発展部門 優勝

三重大学教育学部附属中学校

■計測・制御部門 優勝

三重大学教育学部附属中学校

■基礎部門 優勝 津市立一身田中学校



昨年度に引き続き、ご協賛いただいたカーネル・ソフト・エンジニアリング様から、ロボットカーのデモをしていただきました。また、三重大学工学部のロボット展示、伊勢村田製作所様のロ

ボットデモをしていただきました。さらに、三重大学大学院工学研究科研究科長様より、県大会のご講評をいただくことができました。ロボット製作に取り組んできた生徒にとって有意義なものとなりました。



三重県大会後、優秀なロボット(チーム)は三重県で開催された東海・北陸大会にエントリーしました。今年度はコロナ禍以来、久々の参集型の大会となりました。東海・北陸7県から集まったロボット、チームが熱い戦いを繰り広げました。参加された出場者や顧問の方々から、参集型でしか感じられない中学生の競技に対する真剣さ、緊張感、達成感を間近に感じることができましたという言葉をいただきました。

三重県で開催するロボットコンテスト(通称はロボコン)は、「アイデア1st」をテーマとしています。競技による勝ち負けではなく、そのロボットを作り出すための豊かな創造性を第一に考え、子どもたちの想像力の育成やそれを実現するための技術の育成を目指しています。

競技をする中で、他の学校のチームのロボットのアイデアをみて学ぶことや、勝敗だけではなく、それぞれのロボットのアイデアを称賛したり、アイデアを参考にしたりしながら、互いを認め合い、さらなる工夫につなげていくことが大切です。

中学校部会では、中学校技術・家庭科の授業等で培った能力や態度の成果を披露する場として、今後もロボットコンテスト三重県大会等を継続していきますので、県内各地からのエントリーをお待ちしております。また、引き続き、三重県産業教育振興会の皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

光精工株式会社

光精工株式会社は、1947年に創業され、今年で78年を迎える精密金属加工を得意とする企業です。当社は、自動車部品を中心に、ユニバーサルジョイントをはじめとする高精度な部品を国内外の自動車メーカーに提供しています。ユニバーサルジョイントは、自動車のプロペラシャフトの一部としてエンジンの回転を後輪や四輪に効率よく伝達する役割を果たし、車両の走行性能や耐久性に直接的な影響を与える重要な部品です。

また、国内のみならず、フィリピンと中国(天津、丹陽)に工場を有し、グローバルな生産体制を敷いています。



・ユニバーサルジョイントの役割と特長

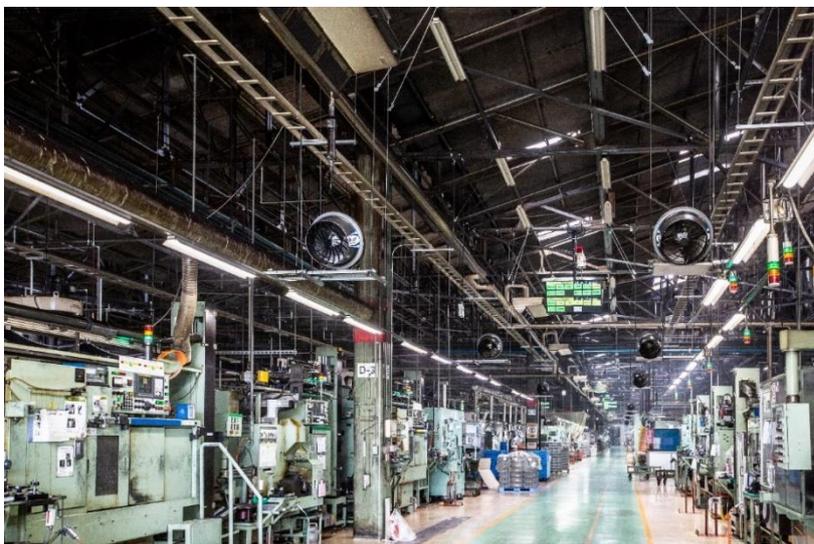
ユニバーサルジョイントは、自動車の駆動に欠かせない部品であり、エンジンで発生した駆動力をロスなく伝達するために重要な役割を果たします。具体的には、プロペラシャフトが回転する際に角度がつくため、ユニバーサルジョイントはその角度を調整し、回転運動を効率的に伝えることができます。これにより、エンジンの回転が無駄なく車両に伝達されます。

光精工のユニバーサルジョイントは、主にFR車（後輪駆動車）や4WD車（四輪駆動車）などの車両に使用されており、その精度と信頼性が高く評価されています。自動車産業における品質や性能要求に応えるために、高い精度を求めて製品を製造しています。



・一貫生産と品質管理

光精工の強みは、一貫生産による品質管理体制にあります。製品の設計から製造、組立、検査まで、すべての工程を自社で管理しており、これにより製品の品質を徹底的に確保しています。特にユニバーサルジョイントの製造においては、高精度の加工が求められますが、当社は自社の高度な技術を駆使して、精度の高い部品を提供しています。また、品質管理を徹底することで、納期通りに高品質な製品を安定的に供給しています。



・地域貢献と人材育成

光精工は、地域貢献にも力を入れています。地元の桑名工業高校や桑名北高校と連携し、毎年インターンシップ生を受け入れています。このインターンシップでは、学生たちに製造業の現場を体験してもらい、ものづくりの魅力や大切さを学んでもらいます。製造現場を体験することで、学生たちは自動車部品がどのように作られ、どのような働きをしているのかを学習することができます。

社内の教育研修体として、社員が講師を務め社内研修を開催しています。今年度は13講座を開催し、多くの社員に学びの場を提供しました。講師を務めることで、講師社員も大きく成長しています。また新入社員にはメンター制度として「指導員」がマンツーマンで付く制度を採用しており、新入社員が早く社内に馴染むよう工夫しております。



また、光精工では地域の子供たちに向けたイベントも積極的に開催しています。例えば、当社製品であるベアリングを使用したハンドスピナー作り体験や、電動ミニカー作りなどを通じて、製造業や当社の製品への興味を引き出し、次世代のものづくりに対する関心を高めています。これにより、学生たちが将来製造業に携わるきっかけを提供し、地域の産業を支える人材になっていただけることを願っております。

・今後の展望

光精工は、今後も自動車部品を中心に精密金属加工技術を活かし、より多くの業界に向けて製品を提供していく方針です。自動車産業で培った経験と技術を活用し、今後は自動車部品のみならず、さまざまな産業に向けた製品開発や提供を進め、技術力をさらに強化していきます。特に、持続可能な企業として地域貢献を重視し、次世代のものづくりに携わる人材の育成にさらに注力していきます。製造業の魅力を次世代に伝え、製造業の価値がさらに認知されることで、多くの若者が製造業に従事されることを期待しています。

また、当社は地域とのつながりを大切にし、地域の学生や次世代の若者たちにもものづくりの楽しさや重要性を伝える活動を積極的に行っています。それが評価され、令和4年度より「みえの働き方推進企業」に登録され、「令和5年度将来世代応援企業賞」受賞、「令和5年度三重のサステナブル経営アワード」を受賞しました。また、地元桑名市のコミュニティプラザのネーミングライツ(命名権)を取得し、各種無料講座を開催するなど、市民の皆様のお役に立つ取り組みを行っています。今後も技術の向上を図りながら、社会貢献と地域密着型の活動をさらに強化していきます。

最後に三重県産業教育振興会の益々のご発展を願い、三重県の産業を担う優秀な人材が育ち、広く社会で活躍されます事を心より祈念申し上げます。

県教育委員会事務局高校教育課より

三重県産業教育振興会会員の皆様におかれましては、日頃より本県の産業教育の振興に御尽力を賜り誠にありがとうございます。

県教育委員会では、貴振興会の会員様をはじめとした産業界の皆様にご支援をいただきながら、小学校、中学校、高等学校の発達段階に応じた系統的なキャリア教育を実施しており、児童生徒に勤労観・職業観を育成するための取組を推進しています。

令和6年度の産業教育に関する主な取組や、令和5年度三重県立高等学校卒業者の進路状況等を紹介させていただきます。

○ 令和6年度三重県立高等学校産業教育フェア

三重県立高等学校産業教育フェアは、本年度で34回目を迎え、10月19日（土）と20日（日）の2日間、イオンモール津南で開催しました。イオンモール津南での開催は今回で4回目となり、イオンモール津南の店舗とのコラボレーション企画のほか、協賛いただいた事業者とスタンプラリーを実施し、来店いただいた多くの方に喜んでいただきました。

生徒は、来場者に興味をもっていただけるよう開発商品や生産物の販売、作品展示、制作体験し、工夫しながら取り組むことができました。教職員にとっても、普段の学校生活では見られない生徒の姿や、時間の経過とともに成長する生徒の様子を見ることができるとなりました。また、一般の来場者からは、「高校生のがんばりに元気をもらった」「学校のことがよく分かった」などの声をいただきました。

様々な年代の方への接客をとおしてコミュニケーション力を育むとともに、他校の生徒と交流しながら自校以外の取組を知ることで、今後の学習意欲の向上につながる活動となりました。

【農業】



フラワーアレンジメント

【工業】



七宝焼キーホルダー作り

【商業】



生徒開発商品販売

【水産】



海の生き物の観察

【家庭】



絵本の読み聞かせ

【看護】



健康チェック

【福祉】



POPカード作り

【情報】



オリジナルゲーム体験

【総合学科】



生徒開発商品販売

【特別支援】



生徒作品販売

| 来場者数合計 | 一般来場者数 | 参加生徒数 | 参加教職員数 |
|----------------------|----------------------|----------------|----------------|
| 54,984人 (54,903人) | 54,319人 (54,165人) | 476人 (511人) | 189人 (227人) |

※（ ）内は、令和5年度の数

○ 高校生が県内の特色ある企業を訪問する取組を実施

企業で働く人々や他校生との意見交換をとおして「働くことの意義やよろこび」「学びつづけることの大切さ」について考えることを目的に、高校生が県内の特色ある企業や大学を訪問し、先端技術の見学や体験、企業経営者や大学教員からの講演等を行う「未来のスペシャリスト育成プログラム」を実施しました。

「未来のスペシャリスト育成プログラム」の主な内容

< 1日目：8月20日（火）>井村屋グループ株式会社・国立大学法人三重大学

- ・肉まん、あんまんやあずきバーの製造工程、バイオマス熱利用の設備を見学
- ・経営者による講演（株式会社プロジェクトM）
- ・先端技術（ドローン、メタバース、3Dプリンタ）の操作体験

< 2日目：8月26日（月）>国立大学法人三重大学

- ・経営者による講演（株式会社光機械製作所）
- ・参加した生徒によるグループディスカッション

○ 三重県立高等学校卒業者の進路状況

令和6年3月県立高等学校卒業者の進路状況は（表1）、令和7年3月県立高等学校卒業予定者の就職内定状況は（表2）のとおりです。

（表1）令和6年3月県立高等学校卒業者の進路状況（令和6年5月1日現在）

| 進路 | 課程 | 全日制 | | 定時制 | | 通信制 | | 合計 | |
|--------------------------|-----|-------|------|-----|------|-----|------|--------|------|
| | | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % | 人数 | % |
| 卒業生数 | | 9,958 | - | 253 | - | 149 | - | 10,360 | - |
| 大学等 進学者 | 大学 | 4,587 | 46.1 | 12 | 4.7 | 29 | 19.5 | 4,628 | 44.7 |
| | 短大 | 408 | 4.1 | 14 | 5.5 | 8 | 5.4 | 430 | 4.2 |
| | 小計 | 4,995 | 50.2 | 26 | 10.3 | 37 | 24.8 | 5,058 | 48.8 |
| | その他 | 75 | 0.8 | 2 | 0.8 | 0 | 0.0 | 77 | 0.7 |
| | 合計 | 5,070 | 50.9 | 28 | 11.1 | 37 | 24.8 | 5,135 | 49.6 |
| 専修学校（専門課程） | | 1,440 | 14.5 | 24 | 9.5 | 21 | 14.1 | 1,485 | 14.3 |
| 専修学校（一般課程・各種学校・公共職業訓練所等） | | 286 | 2.9 | 8 | 3.2 | 1 | 0.7 | 295 | 2.8 |
| 就職者 | | 2,895 | 29.1 | 103 | 40.7 | 24 | 16.1 | 3,022 | 29.2 |
| 上記以外の者 | | 267 | 2.7 | 90 | 35.6 | 66 | 44.3 | 423 | 4.1 |

（表2）令和7年3月県立高等学校卒業予定者（全・定）の就職内定状況（令和6年12月末現在）

| | 北勢 | 中勢 | 松阪 | 南勢 | 伊賀 | 東紀州 | 合計 |
|-----------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 就職内定率（%） | 95.6% (97.4%) | 96.5% (97.5%) | 99.1% (95.8%) | 92.5% (94.8%) | 90.9% (94.2%) | 90.3% (95.4%) | 95.4% (96.6%) |
| 就職希望者数 | 1,165 | 848 | 337 | 345 | 231 | 93 | 3,019 |
| 就職内定者数 | 1,114 | 818 | 334 | 319 | 210 | 84 | 2,879 |
| 就職未内定者数 | 51 | 30 | 3 | 26 | 21 | 9 | 140 |
| うち結果待ち生徒数 | 4 | 4 | 0 | 1 | 3 | 3 | 15 |

※（ ）内は令和5年12月末の数値

一般会員名簿

令和7年3月1日現在（担当高校・五十音順別）

担当高校名

| | 事業所(団体)名 | 住所 | 電話番号 |
|-----------------------|------------------------------|----------------------|----------------|
| 1. 桑名高等学校 | | | |
| 1 | (株)A D E K A 三重工場 | 員弁郡東員町山田 3707-1 | 0594 (76) 2330 |
| 2 | 桑名商工会議所 | 桑名市桑栄町 1-1 | 0594 (22) 5155 |
| 3 | (株)佐藤製作所 | 桑名市修徳町 509 | 0594 (22) 1829 |
| 4 | 医療法人(社団)佐藤病院 | 桑名市大央町 21-15 | 0594 (23) 3547 |
| 2. 桑名工業高等学校 | | | |
| 5 | (株)アベテック | 桑名市福岡町 473-16 | 0594 (22) 0618 |
| 6 | (有)伊藤鉦鑄工所 | 桑名市大字和泉 247 | 0594 (22) 2265 |
| 7 | エイベックス(株) | 名古屋市瑞穂区内浜町 26-3 | 052 (811) 1171 |
| 8 | エバ工業(株) | 員弁郡東員町瀬古泉 339-1 | 0594 (86) 1500 |
| 9 | (株)M I E テクノ | 桑名市星川 1001 | 0594 (31) 3131 |
| 10 | (株)瀨橋製作所 | 三重郡川越町大字亀須新田 202 | 059 (363) 1333 |
| 11 | 長島観光開発(株) | 桑名市長島町大字浦安 333 | 0594 (45) 1111 |
| 12 | 光精工(株) | 桑名市蛸塚新田 806 | 0594 (22) 3155 |
| 13 | (株)北勢自動車学校 | 桑名市大字安永 992 | 0594 (23) 2525 |
| 14 | (株)マルデ鋳器 | いなべ市員弁町西方 538-2 | 0594 (74) 5613 |
| 15 | 水谷建設(株) | 桑名市大字蛸塚新田 328 | 0594 (21) 8111 |
| 16 | 水谷精工(株) | 桑名市大字江場宮之島 357 | 0594 (22) 4125 |
| 17 | ヤマザキマザックマニュファクチャリング(株)いなべ製作所 | いなべ市員弁町松名新田字松名 1 | 0594 (84) 1300 |
| 18 | ヤマモリ(株) | 桑名市陽だまりの丘 6-103 | 0594 (33) 3860 |
| 3. いなべ総合学園高等学校 | | | |
| 19 | 新光ゴム工業(株)北勢工場 | いなべ市北勢町阿下喜 3027-1 | 0594 (72) 2626 |
| 20 | T O Y O T I R E (株)桑名工場 | 員弁郡東員町大字中上 2400 | 0594 (86) 0100 |
| 5. 四日市農芸高等学校 | | | |
| 21 | 旭電気(株) | 四日市市上海老町字東大沢 1648-90 | 059 (326) 8181 |
| 22 | 軽金属押出開発(株) | 四日市市小古曾東 2-2-2 | 059 (345) 4228 |
| 23 | コスモ石油販売(株) 西中部カンパニー | 四日市市西浦 1-1-2 | 059 (350) 8200 |
| 24 | コスモ電子(株) | 四日市市宝町 1 | 059 (349) 1120 |
| 25 | 三昌鶏卵(株) | 四日市市河原田町 1037-1 | 059 (346) 5573 |
| 26 | 三陽化成(株) | 四日市市小古曾東 2-3-1 | 059 (346) 2351 |
| 27 | 昭永工業(株) | 四日市市塩浜町 1 | 059 (345) 1481 |
| 28 | 東海物産(株) | 四日市市高角町 2997 | 059 (326) 3931 |
| 29 | 中島製茶(株) | 四日市市追分 2-1-11 | 059 (346) 4651 |

| | | | |
|----|--------------|------------------|----------------|
| 30 | (株)フジ技研 | いなべ市大安町鍋坂 2262-8 | 0594 (78) 0200 |
| 31 | 四日市海運(株) | 四日市市霞 2-5 | 059 (325) 7212 |
| 32 | 四日市合成(株) | 四日市市宮東町 2-1 | 059 (345) 1161 |
| 33 | (株)四日市南自動車学校 | 四日市市采女町 340-1 | 059 (348) 3373 |

6. 四日市工業高等学校

| | | | |
|----|-----------------|-----------------|----------------|
| 34 | エムイーシーテクノ(株) | 四日市市日永東 3-8-13 | 059 (345) 8950 |
| 35 | 九鬼産業(株) | 四日市市中納屋町 8-18 | 059 (352) 7541 |
| 36 | コスモ石油(株)四日市製油所 | 四日市市大協町 1-1 | 059 (354) 8700 |
| 37 | 大宗建設(株) | 四日市市相生町 1-1 | 059 (353) 6661 |
| 38 | (株)ダイハツ三重 | 四日市市北浜田町 1-3 | 059 (353) 5315 |
| 39 | トヨタカローラ三重(株) | 四日市市北浜田町 10-3 | 059 (353) 5251 |
| 40 | 生川建設(株) | 四日市市中浜田町 1-10 | 059 (355) 2310 |
| 41 | 日本アエロジル(株)四日市工場 | 四日市市三田町 3 | 059 (345) 5111 |
| 42 | (株)白揚ブックセンター | 四日市市十七軒町 12-1 | 059 (353) 1468 |
| 43 | 三重日野自動車(株) | 四日市市中村町 1947-23 | 059 (365) 5111 |
| 44 | 四日市自動車学校 | 四日市市新正 3-7-6 | 059 (353) 0151 |

7. 四日市中央工業高等学校

| | | | |
|----|----------------------------|-----------------|----------------|
| 45 | 上野製菓(株)四日市工場 | 四日市市霞 1-4 | 059 (364) 5121 |
| 46 | キオクシア(株)四日市工場 | 四日市市山之一色町 800 | 059 (330) 1006 |
| 47 | サンレックス工業(株) | 四日市市朝明町 1 | 059 (336) 2200 |
| 48 | 太陽化学(株) | 四日市市山田町 800 | 059 (340) 0800 |
| 49 | (株)トヨタトータルデザイン | 四日市市智積町 3196-1 | 059 (325) 2588 |
| 50 | (有)菽事務機販売 | 三重郡菟野町菟野 4604-1 | 059 (391) 0880 |
| 51 | 富士電機 IT ソリューション(株) 三重支店 | 四日市市諏訪栄町 1-12 | 059 (356) 2285 |
| 52 | 富士電機(株) 食品流通事業本部三重工場 | 四日市市富士町 1-27 | 059 (330) 1511 |
| 53 | 富士電設(株) | 四日市市十七軒町 12-13 | 059 (354) 0088 |

8. 四日市商業高等学校

| | | | |
|----|--------------|---------------------|----------------|
| 54 | (株)伊藤製作所 | 四日市市広永町 101 | 059 (364) 7111 |
| 55 | (株)稲垣鉄工 | 四日市市広永町 74 | 059 (363) 0600 |
| 56 | 北伊勢上野信用金庫 | 四日市市安島 2-2-3 | 059 (354) 1611 |
| 57 | 教育産業(株)三重営業所 | 四日市市東茂福町 2-11 | 059 (364) 8967 |
| 58 | (株)小林機械製作所 | 四日市市八王子町 2435 | 059 (321) 2121 |
| 59 | 三昌物産(株) | 四日市市大字塩浜 180 | 059 (345) 0921 |
| 60 | (株)三洋商会 | 四日市市栄町 3-2 | 059 (351) 1666 |
| 61 | (株)シー・ティー・ワイ | 四日市市本町 8-2 | 059 (353) 6500 |
| 62 | 住友電装(株) | 四日市市西末広町 1-14 | 059 (354) 6200 |
| 63 | (株)扇港電機 | 四日市市北浜町 8-16 | 059 (351) 1101 |
| 64 | (株)東海精機 | 三重郡菟野町千草字中原野 4632-1 | 059 (393) 4141 |
| 65 | 東ソー(株)四日市事業所 | 四日市市霞 1 丁目 8 | 059 (364) 1114 |

| | | | |
|--------------------|-----------------------------|-----------------------|----------------|
| 66 | 東洋電機株 | 四日市市浜田町 13-16 | 059 (353) 3281 |
| 67 | 日産プリンス三重販売株 | 四日市市八田 3-3-32 | 059 (364) 2235 |
| 68 | 日本トランスシティ株 | 四日市市霞 2-1-1 四日市港ポートビル | 059 (363) 5211 |
| 69 | 前野段ボール株 | 四日市市白須賀 1 丁目 15-10 | 059 (331) 3211 |
| 70 | 三重リコピー株 | 津市あのおつ台 4 丁目 6-3 | 059 (273) 5775 |
| 71 | 明治安田生命保険(相) 四日市支社 | 四日市市朝日町 1-3 | 059 (352) 2161 |
| 72 | 四日市商工会議所 | 四日市市諏訪町 2-5 | 059 (352) 8191 |
| 9. 北星高等学校 | | | |
| 73 | カネソウ株 | 三重郡朝日町縄生 81 | 059 (377) 4747 |
| 74 | 株大藤工務店 | 四日市市東日野町 289-3 | 059 (321) 1800 |
| 75 | 株中部コーポレーション | 桑名市大字森忠 463 | 0594 (32) 1111 |
| 76 | 松岡建設株 | 三重郡川越町大字亀崎新田 51-1 | 059 (365) 2171 |
| 10. 白子高等学校 | | | |
| 77 | 株O-GOE | 四日市市広永町 1182-1 | 059 (361) 0005 |
| 78 | 工業化成株鈴鹿工場 | 鈴鹿市石薬師町 2451 | 059 (374) 4800 |
| 79 | 小林機械有 | 津市高茶屋 2-12-55 | 059 (234) 3435 |
| 80 | 新成運輸株 | 四日市市楠町北五味塚 392-1 | 059 (397) 5935 |
| 81 | 株鈴鹿テクト | 鈴鹿市矢橋 3-4-12 | 059 (382) 3241 |
| 82 | スーパーサンシ株 | 鈴鹿市算所 2-5-1 | 059 (373) 4034 |
| 83 | 株中勢自動車学校 | 鈴鹿市寺家 6-1-20 | 059 (386) 1452 |
| 84 | 学校法人ひかり学園 | 鈴鹿市白子本町 2-38 | 059 (386) 1150 |
| 85 | 三重工熱株 | 鈴鹿市桜島町 4-2-6 | 059 (382) 6262 |
| 86 | 医療法人博仁会 村瀬病院 | 鈴鹿市神戸 3-12-10 | 059 (382) 0330 |
| 11. 飯野高等学校 | | | |
| 87 | 清水清三郎商店株 | 鈴鹿市若松東 3-9-33 | 059 (385) 0011 |
| 88 | 鈴鹿商工会議所 | 鈴鹿市飯野寺家町 816 | 059 (382) 3222 |
| 89 | 本田技研工業株鈴鹿製作所 | 鈴鹿市平田町 1907 | 059 (378) 1212 |
| 12. 亀山高等学校 | | | |
| 90 | カメヤマ株 | 亀山市栄町 1504-1 | 0595 (82) 3111 |
| 91 | 亀山商工会議所 | 亀山市東御幸町 39-8 | 0595 (82) 1331 |
| 92 | 株スチールセンター亀山事業所 | 亀山市和田町五反田 510 | 0595 (82) 3316 |
| 93 | 古河電気工業株三重事業所 | 亀山市能褒野町 20-6 | 0595 (85) 1111 |
| 94 | 堀田建設株 | 亀山市東御幸町 231 | 0595 (82) 3311 |
| 95 | 株ミヤガク中京 カメヤマドライバースクール | 亀山市井尻町 667-1 | 0595 (82) 0112 |
| 13. 津工業高等学校 | | | |
| 96 | 荒川制服株 | 津市万町津 174 | 059 (228) 3059 |
| 97 | グリコマニュファクチャリングジ ヤパン株三重工場 | 津市雲出本郷町 1846-5 | 059 (234) 8293 |
| 98 | ダイワ空調設備株 | 津市島崎町 248 | 059 (226) 1277 |

| | | | |
|-----|----------------|-----------------------|----------------|
| 99 | 東海土建(株) | 津市西丸之内 2-15 | 059 (227) 6101 |
| 100 | マクセルクレハ(株) | 津市観音寺町 255 | 059 (226) 4161 |
| 101 | 一般社団法人三重県建設業協会 | 津市桜橋 2-177-2 | 059 (224) 4116 |
| 102 | 三重県中小企業団体中央会 | 津市栄町 1-891 三重県合同ビル 6F | 059 (228) 5195 |
| 103 | 三重トヨペット(株) | 津市上弁財町 4-1 | 059 (227) 7171 |

14. 津商業高等学校

| | | | |
|-----|--------------------|-----------------------|-----------------|
| 104 | 岡三証券(株)津支店 | 津市中央 5-20 | 059 (226) 1511 |
| 105 | グロー・オフィス | 鈴鹿市磯山二丁目 20-8 | 090 (3306) 0264 |
| 106 | 三恵技研工業(株)安濃工場 | 津市安濃町安濃 2560-8 | 059 (268) 2311 |
| 107 | (株)誠文社 | 四日市市鶉の森 2-10-7 | 059 (353) 7171 |
| 108 | 津商工会議所 | 津市丸之内 29-14 | 059 (228) 9141 |
| 109 | (株)津松菱 | 津市東丸之内 4-10 | 059 (228) 1311 |
| 110 | 東海税理士会 三重県支部連合会 | 津市広明町 121 | 059 (226) 3222 |
| 111 | 日本生命保険(相)津支社 | 津市東丸之内 20-12 | 059 (228) 0311 |
| 112 | 三重県漁業協同組合連合会 | 津市広明町 323-1 水産会館内 | 059 (228) 1200 |
| 113 | 一般社団法人 三重県銀行協会 | 津市丸之内 29-14 津商工会館 4F | 059 (228) 7772 |
| 114 | 三重県商工会議所連合会 | 津市栄町 1-891 三重県合同ビル 6F | 059 (227) 1666 |
| 115 | 三重県商工会連合会 | 津市栄町 1-891 三重県合同ビル 6F | 059 (225) 3161 |
| 116 | 三重県信用保証協会 | 津市桜橋 3-399 | 059 (229) 6011 |
| 117 | 三重交通(株) | 津市中央 1-1 | 059 (229) 5511 |
| 118 | 三重テレビ放送(株) | 津市汐見町小谷 693-1 | 059 (226) 1133 |
| 119 | (株)ミエデン | 津市桜橋 2-177-3 | 059 (225) 1111 |

15. みえ夢学園高等学校

| | | | |
|-----|-------------|----------------|----------------|
| 120 | インフォコネク(株) | 松阪市湊町 190-1 | 0598 (20) 8161 |
| 121 | 佐藤ライト工業(株) | 津市芸濃町椋本 2768-2 | 059 (265) 3211 |
| 122 | 長谷川印刷 | 津市東町津 8 | 059 (228) 4465 |
| 123 | 三重トヨタ自動車(株) | 津市垂水 99-1 | 059 (226) 2181 |
| 124 | 三重日産自動車(株) | 津市垂水 557-1 | 059 (225) 2355 |
| 125 | ミヤタスポーツ | 津市久居明神町 2487-1 | 059 (255) 2949 |

16. 久居農林高等学校

| | | | |
|-----|------------------------|--------------------|----------------|
| 126 | (株)朝日屋 | 津市丸之内 20 | 059 (226) 2983 |
| 127 | 伊藤印刷(株) | 津市大門 32-13 | 059 (226) 2545 |
| 128 | 井村屋グループ(株) | 津市高茶屋 7-1-1 | 059 (234) 2131 |
| 129 | (株)オクムラ | 松阪市曲町 637-1 | 0598 (23) 4059 |
| 130 | (株)おやつタウン | 津市森町 1945-11 | 059 (254) 3082 |
| 131 | 河西工業ジャパン(株) | 津市庄田町 2202-23 | 059 (255) 3080 |
| 132 | (株)くろがね工作所津工場 | 津市片田町字壱野田 731-2 | 059 (237) 4101 |
| 133 | 全国共済農業協同組合連合会 三重県本部 | 津市栄町 1-960 | 059 (229) 9127 |
| 134 | 全国農業協同組合連合会 | 津市栄町 1-960 JA 三重ビル | 059 (229) 9065 |

三重県本部

| | | | |
|-----|----------------|-------------------|----------------|
| 135 | (株)大興 | 津市庄田町 2202-21 | 059 (254) 6626 |
| 136 | 大建工業(株)三重工場 | 津市森町 1945-3 | 059 (255) 0611 |
| 137 | (株)ニチリン白山 | 津市白山町山田野 3434 | 059 (262) 2512 |
| 138 | 長谷川設備(株) | 津市久居元町 2268 | 059 (256) 1591 |
| 139 | 八昇製菓(株) | 松阪市大口町字新地 1510-45 | 0598 (51) 1260 |
| 140 | (株)葉山電器製作所 | 津市美里町五百野 1285 | 059 (279) 3131 |
| 141 | (株)百五銀行 | 津市岩田 21-27 | 059 (223) 2326 |
| 142 | 藤田医科大学七栗記念病院 | 津市大鳥町 424-1 | 059 (252) 1555 |
| 143 | マリンフーズ(株)三重工場 | 津市香良洲町 5536-28 | 059 (292) 2211 |
| 144 | 丸栄食品(株) | 津市久居新町 2739-5 | 059 (256) 1121 |
| 145 | 三重県厚生農業協同組合連合会 | 津市栄町 1-960 | 059 (229) 9191 |
| 146 | 三重県農業協同組合中央会 | 津市栄町 1-960 | 059 (229) 9004 |
| 147 | (有)ミフジ印刷 | 津市庄田町 2339-1 | 059 (255) 6851 |

17. 白山高等学校

| | | | |
|-----|--------------|----------------|----------------|
| 148 | (株)エヌ・エス・アイ | 津市白塚町 1929-1 | 059 (236) 5580 |
| 149 | (株)おやつカンパニー | 津市一志町田尻 420 | 059 (293) 2233 |
| 150 | (株)ライジング明和工場 | 多気郡明和町平尾 481-6 | 0596 (52) 2158 |

18. 松阪工業高等学校

| | | | |
|-----|-----------------|------------------|----------------|
| 151 | (株)ウッドベル | 松阪市市場庄町塔田 | 0598 (56) 5616 |
| 152 | 宇野重工(株) | 松阪市大津町 1607-1 | 0598 (51) 1313 |
| 153 | (株)北村組 | 松阪市中央町 306-1 | 0598 (51) 3400 |
| 154 | セントラル硝子プロダクツ(株) | 松阪市大口町 1521 | 0598 (53) 3131 |
| 155 | THK(株)三重工場 | 松阪市丹生寺町 1088 | 0598 (58) 2811 |
| 156 | ハセガワ理化 | 松阪市塚本町字聖御前 474-4 | 0598 (26) 5224 |

19. 松阪商業高等学校

| | | | |
|-----|---------------------|----------------|----------------|
| 157 | (株)大戸 | 松阪市高須町 3866-10 | 0598 (51) 1511 |
| 158 | 健栄製菓(株)松阪工場 | 松阪市広陽町 25 | 0598 (29) 6171 |
| 159 | (株)コスモス・コーポレーション | 松阪市桂瀬町 718-1 | 0598 (60) 1827 |
| 160 | (株)松和自動車学校 | 松阪市大口町 1624-1 | 0598 (51) 1907 |
| 161 | 住友理工(株)松阪製作所 | 松阪市鎌田町 1001 | 0598 (52) 2121 |
| 162 | (株)フレンズ | 松阪市日野町 646 | 0598 (26) 7781 |
| 163 | (株)ホンダカーズ三重 | 松阪市大塚町 381-1 | 0598 (52) 4166 |
| 164 | 松阪金融協会 | 松阪市鎌田町 103-1 | 0598 (52) 5105 |
| 165 | 松阪ケーブルテレビ・ステーション(株) | 松阪市大津町 731-6 | 0598 (50) 2200 |
| 166 | 松阪商工会議所 | 松阪市若葉町 161-2 | 0598 (51) 7811 |

20. 飯南高等学校

| | | | |
|-----|----------------|---------------|----------------|
| 167 | グリーンウッドタクミ協同組合 | 松阪市木の郷町 12 | 0598 (20) 2233 |
| 168 | (株)田上 | 松阪市飯南町下仁柿 134 | 0598 (32) 2983 |

| | | | |
|-----|------------|----------------|----------------|
| 169 | 藤原運輸株松阪事業部 | 松阪市大口町1162-38 | 0598 (53) 3431 |
| 170 | 株三ツ知製作所 | 松阪市飯南町向粥見159-3 | 0598 (32) 2200 |
| 171 | 社会福祉法人 有徳会 | 松阪市久保町1855-113 | 0598 (30) 6508 |

21. 相可高等学校

| | | | |
|-----|--------------|------------------|----------------|
| 172 | 大内山酪農農業協同組合 | 度会郡大紀町大内山3248-2 | 0598 (72) 2221 |
| 173 | 瀬古食品(有) | 松阪市稲木町字市本254-1 | 0598 (28) 2428 |
| 174 | 株ダイヘン三重事業所 | 多気郡多気町大字東池上800 | 0598 (38) 3131 |
| 175 | ノリタケ(株) 松阪工場 | 松阪市広陽町20 | 0598 (29) 5611 |
| 176 | 万協製薬(株) | 多気郡多気町五桂1169-142 | 0598 (30) 5266 |
| 177 | 株フレックスホテル | 松阪市中央町36-18 | 0598 (52) 0800 |
| 178 | みえなか農業協同組合 | 松阪市豊原町1043-1 | 0598 (28) 2111 |

22. 昴学園高等学校

| | | | |
|-----|------------|---------------|----------------|
| 179 | 株魚国総本社三重支社 | 四日市市日永1-2-20 | 059 (346) 1112 |
| 180 | 株岡田建設 | 多気郡大台町佐原555-7 | 0598 (82) 1076 |
| 181 | 株三栄建設 | 多気郡大台町江馬148-4 | 0598 (76) 1121 |
| 182 | 株水谷住建 | 多気郡大台町小切畑553 | 0598 (76) 0011 |

23. 伊勢工業高等学校

| | | | |
|-----|--------------------------|--------------|----------------|
| 183 | 株三水フーズ | 伊勢市下野町653-20 | 0596 (36) 3535 |
| 184 | シンフォニアテクノロジー(株) 伊勢製作所 | 伊勢市竹ヶ鼻町100 | 0596 (36) 1111 |
| 185 | 松田工業(株) | 伊勢市粟野町635 | 0596 (22) 1231 |
| 186 | 株山口工務店 | 伊勢市浦口2丁目9-25 | 0596 (23) 1578 |

24. 宇治山田商業高等学校

| | | | |
|-----|---------|--------------|----------------|
| 187 | 伊勢市金融協会 | 伊勢市岡本1-3-3 | 0596 (25) 4105 |
| 188 | 伊勢商工会議所 | 伊勢市岩淵1-7-17 | 0596 (25) 5151 |
| 189 | 角仙合同(株) | 伊勢市河崎1丁目8-29 | 0596 (25) 7100 |
| 190 | 神宮司庁 | 伊勢市宇治館町1 | 0596 (24) 1111 |
| 191 | ミマス(株) | 度会郡玉城町佐田626 | 0596 (58) 3131 |

25. 伊勢まなび高等学校

| | | | |
|-----|---------------|----------------|----------------|
| 192 | 日本特殊陶業(株)伊勢工場 | 伊勢市円座町字細越871-6 | 0596 (39) 1511 |
|-----|---------------|----------------|----------------|

26. 明野高等学校

| | | | |
|-----|---------------|-----------------|----------------|
| 193 | 株赤福 | 伊勢市宇治中之切町26 | 0596 (22) 2154 |
| 194 | 株ぎゅーとら | 伊勢市西豊浜町655-18 | 0596 (37) 5500 |
| 195 | ノリタケ伊勢電子(株) | 度会郡大紀町打見670-5 | 0598 (83) 2311 |
| 196 | IXホールディングス(株) | 伊勢市小俣町相合1306 | 0596 (22) 0297 |
| 197 | 三重県南部自動車学校 | 伊勢市小俣町元町1648-10 | 0596 (23) 1155 |
| 198 | 横浜ゴム(株)三重工場 | 伊勢市御園町高向1038 | 0596 (28) 3151 |

27. 鳥羽高等学校

| | | | |
|-----|---------------|----------------|----------------|
| 199 | 株石鏡第一ホテル | 鳥羽市石鏡町字与八338-5 | 0599 (32) 5301 |
| 200 | 一般社団法人鳥羽市観光協会 | 鳥羽市大明東町1-7 | 0599 (25) 3019 |

| | | | |
|-----|-------------|--------------|----------------|
| 201 | 鳥羽商工会議所 | 鳥羽市大明東町 1-7 | 0599 (25) 2751 |
| 202 | (株)御木本真珠島 | 鳥羽市鳥羽 1-7-1 | 0599 (25) 2080 |
| 203 | (株)ミキモト鳥羽工場 | 鳥羽市鳥羽 1-4-65 | 0599 (25) 3216 |

28. 水産高等学校

| | | | |
|-----|------------------|-----------------|----------------|
| 204 | 尾鷲物産(株) | 尾鷲市林町 1-33 | 0597 (22) 2323 |
| 205 | (株)賢島宝生苑 | 志摩市阿児町神明 718-3 | 0599 (43) 1218 |
| 206 | (株)志摩電子工業 | 志摩市阿児町甲賀 4480 | 0599 (45) 2200 |
| 207 | (株)みえかつ | 伊勢市藤里町 711-1 | 0596 (25) 1255 |
| 208 | 都リゾート奥志摩アクアフォレスト | 志摩市大王町船越 3238-1 | 0599 (73) 0001 |

30. 伊賀白鳳高等学校

| | | | |
|-----|-------------------------|-------------------------|----------------|
| 209 | 旭ダイヤモンド工業(株)三重工場 | 伊賀市ゆめが丘 7-8-1 | 0595 (26) 7321 |
| 210 | 上野ガス(株) | 伊賀市上野茅町 2706 | 0595 (21) 3611 |
| 211 | 上野キャノンマテリアル(株) | 伊賀市三田字東大町 410-7 | 0595 (24) 3111 |
| 212 | 上野商工会議所 | 伊賀市上野丸之内 500 ㎡トビ 7伊賀 3F | 0595 (21) 0527 |
| 213 | (株)エクセディ上野事業所 | 伊賀市小田町字新田 2418 | 0595 (23) 8101 |
| 214 | 岡三証券(株)伊賀上野支店 | 伊賀市上野東町 2920 | 0595 (21) 5131 |
| 215 | 社会医療法人畿内会 岡波総合病院 | 伊賀市上野桑町 1734 | 0595 (21) 3135 |
| 216 | ケイミュール(株) | 伊賀市三田字東大町 410-1 | 0595 (24) 1811 |
| 217 | 五洋紙工(株)上野工場 | 伊賀市佐那具町金神塚 1773-3 | 0595 (23) 6431 |
| 218 | 大陽日酸 J F P(株)三重工場 | 伊賀市炊村 2500 | 0595 (46) 1316 |
| 219 | (株)ナベル | 伊賀市ゆめが丘 7 丁目 2-3 | 0595 (21) 5060 |
| 220 | (株)日本ハウスウッドワークス中部 | 伊賀市西湯舟 2981 | 0595 (43) 2020 |
| 221 | (株)ミヤケ | 伊賀市佐那具町 1626 | 0595 (23) 5111 |
| 222 | (株)ミルボン | 伊賀市ゆめが丘 7 丁目 7-5 | 0595 (26) 3838 |
| 223 | モリテックスチール(株) 三重大山田工場 | 伊賀市炊村大平 2330-2 | 0595 (46) 1301 |
| 224 | (株)L I X I L 上野緑工場 | 伊賀市西明寺 2820 | 0595 (23) 1222 |

31. あけぼの学園高等学校

| | | | |
|-----|------------------|------------------|----------------|
| 225 | (株)アスター美容 | 伊賀市ゆめが丘 7 丁目 9-2 | 0595 (21) 9827 |
| 226 | (株)ジェイテクトファインテック | 伊賀市佐那具町 1535-1 | 0595 (23) 3380 |
| 227 | (株)LAWA I' A | 伊賀市服部町 2-67-3 | 0595 (23) 5751 |

32. 名張高等学校

| | | | |
|-----|----------------|--------------------|----------------|
| 228 | (株)亀井商事 | 名張市すずらん台西 1 番町 341 | 0595 (62) 3131 |
| 229 | ZACROS(株)名張事業所 | 名張市蔵持町芝出 1109-1 | 0595 (63) 7311 |
| 230 | ZACROS(株)三重事業所 | 名張市滝之原 3889-1 | 0595 (42) 8100 |
| 231 | (有)写真の川地 | 名張市桔梗が丘 2-3-5 | 0595 (65) 1932 |
| 232 | シンキ配送(株) | 名張市西田原 2080 | 0595 (66) 2882 |
| 233 | ダイベア(株)名張工場 | 名張市蔵持町芝出 1109-1 | 0595 (63) 1421 |
| 234 | (株)タカキタ | 名張市夏見 2828 | 0595 (63) 3111 |

| | | | |
|-------------------|--------------------------------------|-------------------------|----------------|
| 235 | (有)名張自動車学校 | 名張市西原町 2463 | 0595 (65) 3070 |
| 236 | 名張商工会議所 | 名張市南町 822-2 | 0595 (63) 0080 |
| 237 | (株)フジシール名張工場 | 名張市八幡字口入野 1300-3 | 0595 (64) 2111 |
| 238 | (株)丸栄建設 | 名張市松崎町 1440-1 | 0595 (63) 2155 |
| 34. 尾鷲高等学校 | | | |
| 239 | 石渕薬品(合) | 尾鷲市朝日町 9-25 | 0597 (22) 2321 |
| 240 | (株)伊藤工作所 | 尾鷲市中川 1-17 | 0597 (22) 1633 |
| 241 | 伊藤石油(株) | 尾鷲市港町 1-9 | 0597 (22) 0014 |
| 242 | (有)ウチヤマススポーツ | 尾鷲市古戸町 7-26 | 0597 (22) 0216 |
| 243 | 尾鷲商工会議所 | 尾鷲市朝日町 14-45 | 0597 (22) 2611 |
| 244 | 海洋ゴム(株) | 北牟婁郡紀北町海山区中里 658 | 0597 (36) 1331 |
| 245 | 望月観光(株) | 尾鷲市坂場町 5-3 | 0597 (22) 0040 |
| 35. 木本高等学校 | | | |
| 246 | 熊野市金融協会 | 熊野市木本町 628 (紀北信用金庫熊野支店) | 0597 (89) 3311 |
| 247 | 熊野商工会議所 | 熊野市木本町 171 | 0597 (89) 3435 |
| 248 | 北越コーポレーション(株) 紀州工場 | 南牟婁郡紀宝町鶴殿 182 | 0735 (32) 1111 |
| 99. 事務局 | | | |
| 249 | トヨタ車体(株) | 刈谷市里山町金山 100 | 056 (636) 7515 |
| 250 | (株)日新化成製作所 | 多気郡多気町仁田 752-60 | 0598 (20) 8451 |
| 251 | 野村證券(株)名古屋支店 プライベート・ウェルス・マネジメント三部 | 愛知県名古屋市中区錦 2-19-22 | 052 (201) 1880 |
| 252 | みらいこ(株) | 伊勢市本町 8-11 | |

学校会員名簿

| 学校名 | 設置学科 | 郵便番号 | 住 所 | 電話番号 | 地区名 |
|---------------|-----------------|----------|------------------|----------------|-----|
| 1 桑名高等学校 | (全) 普・理・看・(定) 普 | 511-0811 | 桑名市東方 1795 | 0594 (22) 5221 | 桑・員 |
| 2 桑名工業高等学校 | 工 | 511-0944 | 桑名市芳ヶ崎 1330-1 | 0594 (31) 5231 | 桑・員 |
| 3 いなへ総合学園高等学校 | 総 | 511-0222 | いなへ市員弁町御園 632 | 0594 (74) 2006 | 桑・員 |
| 4 朝明高等学校 | 普・福 | 512-1304 | 四日市市中野町 2216 | 059 (339) 0212 | 三・四 |
| 5 四日市農芸高等学校 | 農・家 | 510-0874 | 四日市市河原田町 2847 | 059 (345) 5021 | 三・四 |
| 6 四日市工業高等学校 | (全) 工・(定) 工 | 510-0886 | 四日市市日永東 3-4-63 | 059 (346) 2331 | 三・四 |
| 7 四日市中央工業高等学校 | 工 | 512-0925 | 四日市市菅原町 678 | 059 (326) 3100 | 三・四 |
| 8 四日市商業高等学校 | 商 | 512-0921 | 四日市市尾平町字永代寺 2745 | 059 (331) 8324 | 三・四 |
| 9 北星高等学校 | (定) 普・商・(通) 普 | 510-8027 | 四日市市茂福字横座 668-1 | 059 (363) 8110 | 三・四 |
| 10 白子高等学校 | 普・家 | 510-0243 | 鈴鹿市白子 4-17-1 | 059 (386) 0017 | 鈴・亀 |
| 11 飯野高等学校 | (全) 英・応ゾ・(定) 普 | 513-0803 | 鈴鹿市三日市町東新田場 1695 | 059 (383) 3011 | 鈴・亀 |
| 12 亀山高等学校 | 普・情・家 | 519-0116 | 亀山市本町 1-10-1 | 0595 (83) 4560 | 鈴・亀 |
| 13 津工業高等学校 | 工 | 514-0823 | 津市半田 534 | 059 (226) 1285 | 津 |
| 14 津商業高等学校 | 商 | 514-0063 | 津市洪見町 699 | 059 (227) 0271 | 津 |
| 15 みえ夢学園高等学校 | (定) 総 | 514-0803 | 津市柳山津興 1239 | 059 (226) 6217 | 津 |
| 16 久居農林高等学校 | 農・家 | 514-1136 | 津市久居東鷹跡町 105 | 059 (255) 2013 | 津 |
| 17 白山高等学校 | 普・商 | 515-3133 | 津市白山町南家城 678 | 059 (262) 3525 | 津 |
| 18 松阪工業高等学校 | (全) 工・(定) 普 | 515-0073 | 松阪市殿町 1417 | 0598 (21) 5313 | 松阪 |
| 19 松阪商業高等学校 | 商・国教 | 515-0205 | 松阪市豊原町 1600 | 0598 (28) 3011 | 松阪 |
| 20 飯南高等学校 | 総 | 515-1411 | 松阪市飯南町粥見 5480-1 | 0598 (32) 2203 | 松阪 |
| 21 相可高等学校 | 普・農・家 | 519-2181 | 多気郡多気町相可 50 | 0598 (38) 2811 | 松阪 |
| 22 昴学園高等学校 | 総 | 519-2593 | 多気郡大台町茂原 48 | 0598 (76) 0040 | 松阪 |
| 23 伊勢工業高等学校 | 工 | 516-0017 | 伊勢市神久 2-7-18 | 0596 (23) 2234 | 南・志 |
| 24 宇治山田商業高等学校 | 商 | 516-0018 | 伊勢市黒瀬町 1193 | 0596 (22) 1101 | 南・志 |
| 25 伊勢まなび高等学校 | (定) 普・工 | 516-0016 | 伊勢市神田久志本町 1560 | 0596 (25) 3690 | 南・志 |
| 26 明野高等学校 | 農・家・福 | 519-0501 | 伊勢市小俣町明野 1481 | 0596 (37) 4125 | 南・志 |
| 27 鳥羽高等学校 | 総 | 517-0021 | 鳥羽市安楽島町 1459 | 0599 (25) 2935 | 南・志 |
| 28 水産高等学校 | 水 | 517-0703 | 志摩市志摩町和具 2578 | 0599 (85) 0021 | 南・志 |
| 29 伊勢学園高等学校 | 普・看 | 516-0018 | 伊勢市黒瀬町 562-13 | 0596 (22) 4155 | 南・志 |
| 30 伊賀白鳳高等学校 | 農・工・商・福 | 518-0837 | 伊賀市緑ヶ丘西町 2270-1 | 0595 (21) 2110 | 伊賀 |
| 31 あけぼの学園高等学校 | 総 | 519-1424 | 伊賀市川東 412 | 0595 (45) 3050 | 伊賀 |
| 32 名張高等学校 | (全) 総・(定) 普 | 518-0711 | 名張市東町 2067-2 | 0595 (63) 2131 | 伊賀 |
| 33 愛農学園農業高等学校 | 農 | 518-0221 | 伊賀市別府 690 | 0595 (52) 0327 | 伊賀 |
| 34 尾鷲高等学校 | (全) 普・商・工・(定) 普 | 519-3659 | 尾鷲市古戸野町 3-12 | 0597 (22) 2115 | 牟婁 |
| 35 木本高等学校 | (全) 普・総・(定) 普 | 519-4394 | 熊野市木本町 1101-4 | 0597 (85) 3811 | 牟婁 |
| 36 大台中学校 | | 519-2403 | 多気郡大台町上三瀬 903-1 | 0598 (82) 1045 | 中学 |
| 37 天栄中学校 | | 510-0258 | 鈴鹿市秋永町 1839 | 059 (386) 0444 | 中学 |

三重県高等学校案内 (三重県教育委員会) <http://www.mie-c.ed.jp/rainbow/>

公益財団法人 産業教育振興中央会

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 2-8-1 工業教育会館 6 階

TEL : 03-5211-6861 FAX : 03-5211-6863

E-mail : info@sansinchuukai.or.jp <http://www.sansinchuukai.or.jp>

三重県産業教育振興会

事務局 三重県立久居農林高等学校内

〒514-1136 三重県津市久居東鷹跡町105

TEL・FAX 059-255-3575 (直通)

e-mail mie-sanshin@mxs.mie-c.ed.jp

URL <https://mie-sanshin.jp>

理事長 萬井 洋

書記 奥田 毅

会計 松本 卓也

事務職員 松本由加里

本会ホームページはこちら

